

改正理由	一部改正	改正 現行																																				
現 行		改 正																																				
<p>表7.2 掘削深さ</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装版+路盤及び路床の掘削深さ</th> <th>入力番号</th> </tr> <tr> <td>40cm以下</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>40cmを超え80cm以下</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>80cmを超え120cm以下</td> <td>③</td> </tr> </table> <p>表7.3 舗装版厚さ</p> <table border="1"> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> <tr> <td>15cm以下</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>15cmを超え30cm以下</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>30cmを超え40cm以下</td> <td>③</td> </tr> </table> <p>(3) 不陸整正(路床又は路盤の補足材敷均し転圧)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工単排コード</th> <td>WB430630</td> <th>施工単位</th> <td>m²</td> </tr> <tr> <th>施工区分</th> <th colspan="3">人 力 条 件</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">各 種</td> <th>J 1</th> <th>J 2</th> <th>J 3</th> </tr> <tr> <td>総 施 工 量</td> <td>打 換 え 区 分</td> <td>す り つ け 作 業 の 有 無</td> </tr> <tr> <td>①1,000m²未満 ②1,000m²以上 (表7.1)</td> <td></td> <td>① 有 ② 無</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J1条件は、1層当りの数量により判断し入力すること。 2. J3条件は、各作業の段階ごとに判断するのではなく、とりこわしから舗装の敷均し・転圧までの一連の急速施工において、すりつけ作業が必要になるのか判断し、一連の作業は全て同じ条件を入力すること。 3. 表5.5による諸雑費を含む。 4. 本コードは、とりこわし・掘削後の路床及び路盤面の不陸整正として、補足材の有無にかかわらず路床及び路盤の敷均し転圧を一層分計上している(敷均し転圧層数は、一層で固定である)。 5. 路床又は路盤の補足材材料費を計上する場合は、路床材料費については「第II編第1章②-1土工」(CB210550)により、また路盤材料費については次式による必要数量を「第I編第14章その他①材料単価入力基準表」(WB020013)により別途計上すること。 使用量(m²)=設計量(m²)×(1+K) K:ロス率(+0.27)</p>		舗装版+路盤及び路床の掘削深さ	入力番号	40cm以下	①	40cmを超え80cm以下	②	80cmを超え120cm以下	③	規 格	入力番号	15cm以下	①	15cmを超え30cm以下	②	30cmを超え40cm以下	③	施工単排コード	WB430630	施工単位	m ²	施工区分	人 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	総 施 工 量	打 換 え 区 分	す り つ け 作 業 の 有 無	①1,000m ² 未満 ②1,000m ² 以上 (表7.1)		① 有 ② 無	<p>現行どおり</p> <p>2. J3条件は、各作業の段階毎に判断するのではなく、とりこわしから舗装の敷均し・転圧までの一連の急速施工において、すりつけ作業が必要になるのか判断し、一連の作業は全て同じ条件を入力すること。 3. 表5.5による諸雑費を含む。 4. 本コードは、とりこわし・掘削後の路床及び路盤面の不陸整正として、補足材の有無にかかわらず路床及び路盤の敷均し転圧を一層分計上している(敷均し転圧層数は、一層で固定である)。 5. 路床又は路盤の補足材材料費を計上する場合は、路床材料費については「第II編第1章②-1土工」(CB210550)により、また路盤材料費については次式による必要数量を「第I編第14章その他①材料単価入力基準表」(WB020013)により別途計上すること。 使用数量(m²)=設計数量(m²)×(1+K) K:ロス率(+0.27)</p>		備考
舗装版+路盤及び路床の掘削深さ	入力番号																																					
40cm以下	①																																					
40cmを超え80cm以下	②																																					
80cmを超え120cm以下	③																																					
規 格	入力番号																																					
15cm以下	①																																					
15cmを超え30cm以下	②																																					
30cmを超え40cm以下	③																																					
施工単排コード	WB430630	施工単位	m ²																																			
施工区分	人 力 条 件																																					
各 種	J 1	J 2	J 3																																			
	総 施 工 量	打 換 え 区 分	す り つ け 作 業 の 有 無																																			
	①1,000m ² 未満 ②1,000m ² 以上 (表7.1)		① 有 ② 無																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 8/10																																			

改正理由	一部改正	改正 現行																																																													
現行		改正	備考																																																												
<p>(4) 路盤の敷均し・転圧</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB430640</td> <td>施工単位</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各種</td> <td>J1</td> <td>J2</td> <td>J3</td> <td>J4</td> <td>J5</td> <td>J6</td> <td>J7</td> </tr> <tr> <td>総施工量</td> <td>打換え区分</td> <td>層数(実数入力)</td> <td>路盤厚と実数入力</td> <td>路盤材の種類</td> <td>路盤材のロス率(実数入力)</td> <td>すりつけ作業の有無</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①1,000m²未満 ②1,000m²以上</td> <td>(表7.1)</td> <td>(層)</td> <td>(mm)</td> <td>(表7.4)</td> <td></td> <td>①有 ②無</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J1条件は、1層当りの数量により判断し入力すること。 2. J5条件で④を選択した場合のみJ6条件を実数入力し、砕石単価(Y-0241000) [円/m³]を単価登録すること。 3. J7条件は、各作業の段階ごとに判断するのではなく、とりこわしから舗装の敷均し・転圧までの一連の急速施工において、すりつけ作業が必要になるのか判断し、一連の作業は全て同じ条件を入力すること。 4. 表5.5による諸雑費を含む。 5. とりこわし・掘前後の路床及び路盤面の不陸整正として、補足材の有無にかかわらず「WB430630」により別途計上すること。</p> <p>表7.4 路盤材の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料</th> <th>規 格</th> <th>ロス率</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">クラッシュヤラン</td> <td>C-40</td> <td rowspan="10">+0.27</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>C-30</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>再生クラッシュヤラン</td> <td>RC-40</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">結調砕石</td> <td>M-40</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>M-30</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">高炉スラグ</td> <td>クラッシュヤラン40-0</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>粒調25-0</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>HMS25-0</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>路盤材</td> <td>各種</td> <td>-</td> <td>⑨</td> </tr> </tbody> </table>		施工歩掛コード	WB430640	施工単位	m ²	施工区分	入力条件			各種	J1	J2	J3	J4	J5	J6	J7	総施工量	打換え区分	層数(実数入力)	路盤厚と実数入力	路盤材の種類	路盤材のロス率(実数入力)	すりつけ作業の有無		①1,000m ² 未満 ②1,000m ² 以上	(表7.1)	(層)	(mm)	(表7.4)		①有 ②無	材 料	規 格	ロス率	入力番号	クラッシュヤラン	C-40	+0.27	①	C-30	②	再生クラッシュヤラン	RC-40	③	結調砕石	M-40	④	M-30	⑤	高炉スラグ	クラッシュヤラン40-0	⑥	粒調25-0	⑦	HMS25-0	⑧	路盤材	各種	-	⑨	<p>現行どおり</p> <p>3. J7条件は、各作業の段階毎に判断するのではなく、とりこわしから舗装の敷均し・転圧までの一連の急速施工において、すりつけ作業が必要になるのか判断し、一連の作業は全て同じ条件を入力すること。</p> <p>現行どおり</p>	記載の変更
施工歩掛コード	WB430640	施工単位	m ²																																																												
施工区分	入力条件																																																														
各種	J1	J2	J3	J4	J5	J6	J7																																																								
	総施工量	打換え区分	層数(実数入力)	路盤厚と実数入力	路盤材の種類	路盤材のロス率(実数入力)	すりつけ作業の有無																																																								
	①1,000m ² 未満 ②1,000m ² 以上	(表7.1)	(層)	(mm)	(表7.4)		①有 ②無																																																								
材 料	規 格	ロス率	入力番号																																																												
クラッシュヤラン	C-40	+0.27	①																																																												
	C-30		②																																																												
再生クラッシュヤラン	RC-40		③																																																												
結調砕石	M-40		④																																																												
	M-30		⑤																																																												
高炉スラグ	クラッシュヤラン40-0		⑥																																																												
	粒調25-0		⑦																																																												
	HMS25-0		⑧																																																												
路盤材	各種		-	⑨																																																											
積算上の注意事項				(控え頁) 9/10																																																											

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																						
現 行		改 正																																																																						
<p>(5) 舗装の敷均し・転圧</p> <table border="1"> <tr> <td>施工掛コード</td> <td>WB430650</td> <td>施工単位</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td>J 6</td> <td>J 7</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td>総 施 工 量</td> <td>打 換 え 区 分</td> <td>舗 装 材 の 種 類</td> <td>舗 装 材 の 締 固 め 後 密 度 (実数入力)</td> <td>層 数 (実数入力)</td> <td>舗 装 厚 さ (実数入力)</td> <td>す り つ け 作 業 の 有 無</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①1,000m² 未満 ②1,000m² 以上</td> <td>(表7.1)</td> <td>(表7.5)</td> <td>(t/m³)</td> <td>(層)</td> <td>(mm)</td> <td>① 有 ② 無</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J1条件は、1層当りの数量により判断し入力すること。 2. 舗装材の締固め後密度は「第IV編第3章①-2切削オーバーレイ工」表5.3アスファルト混合物の締固め後密度による。 3. 本コードは舗装材のロス率を「第IV編第3章①-2切削オーバーレイ工」表5.2アスファルト混合物のロス率「車道及び路肩(+0.07)」で固定している。 4. J3条件で①を選択した場合のみJ4条件を実数入力し、アスファルト混合物単価 (V-1102000) [円/t] を単価登録すること。 5. J7条件は、各作業の段階ごとに判断するのではなく、とりこわしから舗装の敷均し・転圧までの一連の急速施工において、すりつけ作業が必要となるのか判断し、一連の作業は全て同じ条件を入力すること。 6. 表5.5 による諸雑費を含む。 7. とりこわし・掘削後の路床及び路盤面の不陸整正として、補足材の有無にかかわらず「WB430630」により別途計上すること。</p> <p>表7.5 舗装材の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料</th> <th>締固め後密度</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>瀝青安定処理材 (40)</td> <td>2.35 t/m³</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>瀝青安定処理材 (30)</td> <td>〃</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>瀝青安定処理材 (25)</td> <td>〃</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>粗粒度アスコン (20)</td> <td>〃</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>密粒度アスコン (20)</td> <td>〃</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>密粒度アスコン (13)</td> <td>〃</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>密粒度アスコン (20F)</td> <td>〃</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>再生密粒度アスコン (20)</td> <td>〃</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>再生粗粒度アスコン (20)</td> <td>〃</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>再生瀝青安定処理材 (40)</td> <td>〃</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td>—</td> <td>⑪</td> </tr> </tbody> </table> <p>IV-3-④-12</p>		施工掛コード	WB430650	施工単位	m ²	施工区分	入 力 条 件				J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	各 種	総 施 工 量	打 換 え 区 分	舗 装 材 の 種 類	舗 装 材 の 締 固 め 後 密 度 (実数入力)	層 数 (実数入力)	舗 装 厚 さ (実数入力)	す り つ け 作 業 の 有 無		①1,000m ² 未満 ②1,000m ² 以上	(表7.1)	(表7.5)	(t/m ³)	(層)	(mm)	① 有 ② 無	材 料	締固め後密度	入力番号	瀝青安定処理材 (40)	2.35 t/m ³	①	瀝青安定処理材 (30)	〃	②	瀝青安定処理材 (25)	〃	③	粗粒度アスコン (20)	〃	④	密粒度アスコン (20)	〃	⑤	密粒度アスコン (13)	〃	⑥	密粒度アスコン (20F)	〃	⑦	再生密粒度アスコン (20)	〃	⑧	再生粗粒度アスコン (20)	〃	⑨	再生瀝青安定処理材 (40)	〃	⑩	各 種	—	⑪	<p>現行どおり</p> <p>5. J7条件は、各作業の段階毎に判断するのではなく、とりこわしから舗装の敷均し・転圧までの一連の急速施工において、すりつけ作業が必要となるのか判断し、一連の作業は全て同じ条件を入力すること。</p> <p>現行どおり</p>		備考
施工掛コード	WB430650	施工単位	m ²																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																							
	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7																																																																	
各 種	総 施 工 量	打 換 え 区 分	舗 装 材 の 種 類	舗 装 材 の 締 固 め 後 密 度 (実数入力)	層 数 (実数入力)	舗 装 厚 さ (実数入力)	す り つ け 作 業 の 有 無																																																																	
	①1,000m ² 未満 ②1,000m ² 以上	(表7.1)	(表7.5)	(t/m ³)	(層)	(mm)	① 有 ② 無																																																																	
材 料	締固め後密度	入力番号																																																																						
瀝青安定処理材 (40)	2.35 t/m ³	①																																																																						
瀝青安定処理材 (30)	〃	②																																																																						
瀝青安定処理材 (25)	〃	③																																																																						
粗粒度アスコン (20)	〃	④																																																																						
密粒度アスコン (20)	〃	⑤																																																																						
密粒度アスコン (13)	〃	⑥																																																																						
密粒度アスコン (20F)	〃	⑦																																																																						
再生密粒度アスコン (20)	〃	⑧																																																																						
再生粗粒度アスコン (20)	〃	⑨																																																																						
再生瀝青安定処理材 (40)	〃	⑩																																																																						
各 種	—	⑪																																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 10/10																																																																					

工 種	路上路盤再生工
-----	---------

改正理由	一部改正	改正 現行																																					
現	行	改	正																																				
		備	考																																				
<p>⑤ 路上路盤再生工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、スタビライザによる路上混合作業で、混合深さ40cm以下の再生路盤工に適用する。 なお、既設アスファルト舗装版を同時に混合する場合の既設アスファルト舗装版厚は、15cm以下とする。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 養生工は必要に応じて計上する。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>破碎混合</td> <td>スタビライザ</td> <td>路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不陸修正</td> <td>モータグレーダ</td> <td>土下用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) プレート幅3.1m</td> <td>"</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">締め</td> <td>ロードローラ</td> <td>ツカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10~12t</td> <td>"</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8~20t</td> <td>"</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">養生</td> <td>振動ローラ (舗装用)</td> <td>播乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6~7.5t</td> <td>"</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8~20t</td> <td>"</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) タイヤローラ及び振動ローラ(舗装用)は、賃料とする。</p> <p>4. 編成人員 日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p>表4.1 日当り編成人員 (人/口)</p> <table border="1"> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>IV-3-⑤-1</p>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	破碎混合	スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	台	1	不陸修正	モータグレーダ	土下用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) プレート幅3.1m	"	1	締め	ロードローラ	ツカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10~12t	"	1	タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8~20t	"	1	養生	振動ローラ (舗装用)	播乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6~7.5t	"	1	タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8~20t	"	1	土木一般世話役	普通作業員	1	4	<p>現行どおり</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、スタビライザによる路上混合作業で、混合深さ40cm以下の路上路盤再生工に適用する。 なお、既設アスファルト舗装版を同時に混合する場合の既設アスファルト舗装版厚は、15cm以下とする。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の変更</p>
作業種別	機械名	規格	単位	数量																																			
破碎混合	スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	台	1																																			
不陸修正	モータグレーダ	土下用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) プレート幅3.1m	"	1																																			
締め	ロードローラ	ツカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10~12t	"	1																																			
	タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8~20t	"	1																																			
養生	振動ローラ (舗装用)	播乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6~7.5t	"	1																																			
	タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8~20t	"	1																																			
土木一般世話役	普通作業員																																						
1	4																																						
積算上の注意事項		(控え頁) 1/4																																					

工 種	路上路盤再生工
-----	---------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考						
	現 行	改 正							
	<p>5. 日当り施工量 路上路盤再生工の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 日当り施工量 (m²/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">路 上 路 盤 再 生 工</td> <td style="text-align: center;">790</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、混合深さ40cm以下の場合に適用する。 2. 混合回数、1回を標準とする。 3. 添加剤は、セメント系を標準とする。 4. 混合用乳剤を必要により添加する場合は、材料費のみ計上する。 5. 上表は、添加剤散布、破砕混合、不陸修正、締固め、養生工を全て含んだ標準施工量である。 なお、日当り施工量は、養生工の有無にかかわらず同一とする。</p> <p>6. 諸 雑 費 諸雑費は、小器材（スコップ、竹ぼうき等）及び養生工（プライムコート材料、エンジンスプレーヤ等）の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">混 合 深 さ 20 cm 以 下</td> <td style="text-align: center;">16 (2)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">混 合 深 さ 20 cm を 超 え 40 cm 以 下</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 養生工を必要としない場合は、()内の率を計上する。 2. 養生工は、締固め後、一時的に交通解放を行う場合や、長期間放置する場合に計上するものとし、締固め後、直ちに舗装を行う場合は計上しない。 なお、砂の散布が必要な場合は、材料費のみ計上する。</p>	路 上 路 盤 再 生 工	790	混 合 深 さ 20 cm 以 下	16 (2)	混 合 深 さ 20 cm を 超 え 40 cm 以 下		<p>現行どおり</p> <p>諸雑費は、小器材（スコップ、竹ぼうき等）及び養生工（プライムコート材料、エンジンスプレーヤ等）の費用であり、労務費、機械損料、機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>現行どおり</p>	記載の変更
路 上 路 盤 再 生 工	790								
混 合 深 さ 20 cm 以 下	16 (2)								
混 合 深 さ 20 cm を 超 え 40 cm 以 下									
IV-3-⑤-2									
積算上の注意事項			(控え頁) 2/4						

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考																																																																																																								
現 行		改 正																																																																																																									
<p>7. 単 価 表</p> <p>(1) 路上路盤再生工100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">施工歩掛コード</td> <td style="text-align: center;">WB430710</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>上木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>4×100/D</td> </tr> <tr> <td>添加剤</td> <td>セメント系</td> <td>kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>混合用乳剤</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>必要により計上する</td> </tr> <tr> <td>砂</td> <td></td> <td>m³</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>スタビライザ運転</td> <td>路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m</td> <td>日</td> <td>100/D</td> </tr> <tr> <td>モータグレーダ運転</td> <td>土1用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ運転</td> <td>マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ (舗装用)運転</td> <td>搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. D: 日当り施工量 (m²/日) 2. 数量1: 混合深さ20cm以下の場合 数量2: 混合深さ20cmを超え40cm以下の場合</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スタビライザ</td> <td>路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 135 機械損料数量→ 1.21</td> </tr> <tr> <td>モータグレーダ</td> <td>土1用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 46 機械損料数量→ 1.47</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 32 機械損料数量→ 1.59</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 31 機械損料数量→ 1.62</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ (舗装用)</td> <td>搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 44 機械損料数量→ 1.75</td> </tr> </tbody> </table>				施工歩掛コード	WB430710	名 称	規 格	単 位	摘 要	上木一般世話役		人	1×100/D	普通作業員		人	4×100/D	添加剤	セメント系	kg		混合用乳剤		ℓ	必要により計上する	砂		m ³	〃	スタビライザ運転	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	日	100/D	モータグレーダ運転	土1用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	〃	100/D	ロードローラ運転	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t	〃	100/D	タイヤローラ運転	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	〃	100/D	振動ローラ (舗装用)運転	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t	〃	100/D	諸 雑 費		式	1	計				機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 135 機械損料数量→ 1.21	モータグレーダ	土1用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 46 機械損料数量→ 1.47	ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 32 機械損料数量→ 1.59	タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 31 機械損料数量→ 1.62	振動ローラ (舗装用)	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 44 機械損料数量→ 1.75	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スタビライザ</td> <td>路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 135 機械損料数量→ 1.22</td> </tr> <tr> <td>モータグレーダ</td> <td>土1用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 46 機械損料数量→ 1.48</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 32 機械損料数量→ 1.61</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 31 機械損料数量→ 1.62</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ (舗装用)</td> <td>搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 44 機械損料数量→ 1.75</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">記載の変更</p>	機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 135 機械損料数量→ 1.22	モータグレーダ	土1用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 46 機械損料数量→ 1.48	ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 32 機械損料数量→ 1.61	タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 31 機械損料数量→ 1.62	振動ローラ (舗装用)	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 44 機械損料数量→ 1.75	
		施工歩掛コード	WB430710																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	摘 要																																																																																																								
上木一般世話役		人	1×100/D																																																																																																								
普通作業員		人	4×100/D																																																																																																								
添加剤	セメント系	kg																																																																																																									
混合用乳剤		ℓ	必要により計上する																																																																																																								
砂		m ³	〃																																																																																																								
スタビライザ運転	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	日	100/D																																																																																																								
モータグレーダ運転	土1用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	〃	100/D																																																																																																								
ロードローラ運転	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t	〃	100/D																																																																																																								
タイヤローラ運転	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	〃	100/D																																																																																																								
振動ローラ (舗装用)運転	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t	〃	100/D																																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																																								
計																																																																																																											
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																								
スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 135 機械損料数量→ 1.21																																																																																																								
モータグレーダ	土1用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 46 機械損料数量→ 1.47																																																																																																								
ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 32 機械損料数量→ 1.59																																																																																																								
タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 31 機械損料数量→ 1.62																																																																																																								
振動ローラ (舗装用)	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 44 機械損料数量→ 1.75																																																																																																								
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																								
スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 135 機械損料数量→ 1.22																																																																																																								
モータグレーダ	土1用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 46 機械損料数量→ 1.48																																																																																																								
ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 32 機械損料数量→ 1.61																																																																																																								
タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 31 機械損料数量→ 1.62																																																																																																								
振動ローラ (舗装用)	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 44 機械損料数量→ 1.75																																																																																																								
IV-3-⑤-3																																																																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																																																																																																								

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																									
現 行		改 正																																																																									
		備 考																																																																									
<p>8. 施工単価入力基準表 (1) 路上路盤再生工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">施工歩掛コード</td> <td style="width: 15%;">WB430710</td> <td style="width: 15%;">施工単位</td> <td style="width: 15%;">m</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="6" style="text-align: center;">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">各 種</td> <td style="text-align: center;">J 1</td> <td style="text-align: center;">J 2</td> <td style="text-align: center;">J 3</td> <td style="text-align: center;">J 4</td> <td style="text-align: center;">J 5</td> <td style="text-align: center;">J 6</td> <td style="text-align: center;">J 7</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">作業内容 (表 8.1)</td> <td style="font-size: small;">添加剤使用量 (実数入力) kg/100 m²</td> <td style="font-size: small;">混合用乳剤 ①無 ②有</td> <td style="font-size: small;">混合用乳剤使用量 (実数入力) ℓ/100 m²</td> <td style="font-size: small;">養生工 ①無 ②有</td> <td style="font-size: small;">砂の散布 ①無 ②有</td> <td style="font-size: small;">砂使用量 (実数入力) m³/100 m²</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 添加剤単価 (Y-1240000) [円/kg] を単価登録すること。 2. J 3 条件で①を選択した場合は、J 4 条件は入力する必要はない。 3. J 3 条件で②を選択した場合は、混合用乳剤単価 (Y-1112000) [円/ℓ] を単価登録すること。 4. J 5 条件で①を選択した場合は、J 6、J 7 条件は入力する必要はない。 5. J 6 条件で①を選択した場合は、J 7 条件は入力する必要はない。 6. J 6 条件で②を選択した場合は、砂単価 (Y-0240000) [円/m³] を単価登録すること。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <caption>表 8.1 作業内容</caption> <tr> <th style="width: 50%;">混 合 深 さ</th> <th style="width: 50%;">入 力 番 号</th> </tr> <tr> <td>20 cm以下</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>20 cmを超え 40 cm以下</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> </table>		施工歩掛コード	WB430710	施工単位	m				施工区分	入 力 条 件						各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	作業内容 (表 8.1)	添加剤使用量 (実数入力) kg/100 m ²	混合用乳剤 ①無 ②有	混合用乳剤使用量 (実数入力) ℓ/100 m ²	養生工 ①無 ②有	砂の散布 ①無 ②有	砂使用量 (実数入力) m ³ /100 m ²	混 合 深 さ	入 力 番 号	20 cm以下	①	20 cmを超え 40 cm以下	②	<p>8. 施工単価入力基準表 (1) 路上路盤再生工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">施工歩掛コード</td> <td style="width: 15%;">WB430710</td> <td style="width: 15%;">施工単位</td> <td style="width: 15%;">m²</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="6" style="text-align: center;">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">各 種</td> <td style="text-align: center;">J 1</td> <td style="text-align: center;">J 2</td> <td style="text-align: center;">J 3</td> <td style="text-align: center;">J 4</td> <td style="text-align: center;">J 5</td> <td style="text-align: center;">J 6</td> <td style="text-align: center;">J 7</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">混合深さ (表 8.1)</td> <td style="font-size: small;">添加剤使用量 (実数入力) kg/100 m²</td> <td style="font-size: small;">混合用乳剤 ①無 ②有</td> <td style="font-size: small;">混合用乳剤使用量 (実数入力) ℓ/100 m²</td> <td style="font-size: small;">養生工 ①無 ②有</td> <td style="font-size: small;">砂の散布 ①無 ②有</td> <td style="font-size: small;">砂使用量 (実数入力) m³/100 m²</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">→ 現行どおり</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <caption>表 8.1 混合深さ</caption> <tr> <th style="width: 50%;">混 合 深 さ</th> <th style="width: 50%;">入 力 番 号</th> </tr> <tr> <td>20 cm以下</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>20 cmを超え 40 cm以下</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> </table>		施工歩掛コード	WB430710	施工単位	m ²				施工区分	入 力 条 件						各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	混合深さ (表 8.1)	添加剤使用量 (実数入力) kg/100 m ²	混合用乳剤 ①無 ②有	混合用乳剤使用量 (実数入力) ℓ/100 m ²	養生工 ①無 ②有	砂の散布 ①無 ②有	砂使用量 (実数入力) m ³ /100 m ²	混 合 深 さ	入 力 番 号	20 cm以下	①	20 cmを超え 40 cm以下	②	記載の変更	記載の変更
施工歩掛コード	WB430710	施工単位	m																																																																								
施工区分	入 力 条 件																																																																										
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7																																																																				
	作業内容 (表 8.1)	添加剤使用量 (実数入力) kg/100 m ²	混合用乳剤 ①無 ②有	混合用乳剤使用量 (実数入力) ℓ/100 m ²	養生工 ①無 ②有	砂の散布 ①無 ②有	砂使用量 (実数入力) m ³ /100 m ²																																																																				
混 合 深 さ	入 力 番 号																																																																										
20 cm以下	①																																																																										
20 cmを超え 40 cm以下	②																																																																										
施工歩掛コード	WB430710	施工単位	m ²																																																																								
施工区分	入 力 条 件																																																																										
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7																																																																				
	混合深さ (表 8.1)	添加剤使用量 (実数入力) kg/100 m ²	混合用乳剤 ①無 ②有	混合用乳剤使用量 (実数入力) ℓ/100 m ²	養生工 ①無 ②有	砂の散布 ①無 ②有	砂使用量 (実数入力) m ³ /100 m ²																																																																				
混 合 深 さ	入 力 番 号																																																																										
20 cm以下	①																																																																										
20 cmを超え 40 cm以下	②																																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 4/4																																																																								

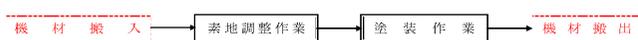
改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																								
	<p>⑥ アスファルト注工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、コンクリート舗装版及びオーバーレイされたコンクリート舗装版（コンクリート版厚20～25cm）のアスファルト注工作業に適用する。</p> <p>2. 機種の設定 2-1 削孔機械 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 削孔機械</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハンドハンマ</td> <td>20kg級</td> <td>台</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュウ型・吐出ガス封鎖型（第1次基準値）吐出量7.5～7.8m³/min 吐出圧力0.7MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>普通型 2t積</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>空気圧縮機及び機械運搬用</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-2 注入機械 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.2 注入機械</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトケットル</td> <td>定置式 タンク容量6,000 ℓ</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディストリビュータ</td> <td>自走式（トラック架装式）タンク容量4,000～4,500 ℓ</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>普通型 2t積</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>注入時の散水、注入層処理用</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 施 工 量 3-1 削孔径及び削孔数 削孔径は、50mmを標準とし、作業面積1m²当りの削孔数は、次表の範囲で現場条件等により決定する。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 削孔数 (穴/m²)</p> <table border="1"> <tr> <td>削 孔 数</td> <td>0.1～0.35</td> </tr> </table> <p>3-2 注入材使用量 (1) 注入材の使用量 注入材（ブローンアスファルト）の使用量は、次式による。 使用量 (t/m²) = ディストリビュータ吐出量 (t/m²) × (1+K) ……式3.1 K：ロス率</p> <p style="text-align: center;">表3.2 ロス率</p> <table border="1"> <tr> <td>ロ ス 率</td> <td>+0.01</td> </tr> </table> <p>(2) 注入量 作業面積1m²当り注入量（ディストリビュータ吐出量）は、次表の範囲で現場条件等により決定する。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 注入量 (t/m²)</p> <table border="1"> <tr> <td>注 入 量</td> <td>0.001～0.008</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">IV-3-⑥-1</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	ハンドハンマ	20kg級	台	2		空気圧縮機	可搬式・エンジン駆動・スクリュウ型・吐出ガス封鎖型（第1次基準値）吐出量7.5～7.8m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	〃	1		トラック	普通型 2t積	〃	1	空気圧縮機及び機械運搬用	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	アスファルトケットル	定置式 タンク容量6,000 ℓ	台	1		ディストリビュータ	自走式（トラック架装式）タンク容量4,000～4,500 ℓ	〃	1		トラック	普通型 2t積	〃	1	注入時の散水、注入層処理用	削 孔 数	0.1～0.35	ロ ス 率	+0.01	注 入 量	0.001～0.008	<p>現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表2.1 削孔機械</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハンドハンマ</td> <td>20kg級</td> <td>台</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュウ型・吐出ガス封鎖型（第1次基準値）吐出量7.5～7.8m³/min 吐出圧力0.7MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>〔普通型〕 2t積</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>空気圧縮機及び機械運搬用</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-2 注入機械 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.2 注入機械</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトケットル</td> <td>定置式 タンク容量6,000 ℓ</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディストリビュータ</td> <td>自走式トラック架装式 タンク容量4,000～4,500 ℓ</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>普通型 2t積</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>注入時の散水、注入層処理用</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 注入材使用数量 (1) 注入材の使用数量 注入材（ブローンアスファルト）の使用数量は、次式による。 使用数量 (t/m²) = ディストリビュータ吐出量 (t/m²) × (1-K) ……式3.1 K：ロス率</p> <p style="text-align: center;">表3.2 ロス率(K)</p> <table border="1"> <tr> <td>ロ ス 率</td> <td>+0.01</td> </tr> </table> <p>現行どおり</p> <p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	ハンドハンマ	20kg級	台	2		空気圧縮機	可搬式・エンジン駆動・スクリュウ型・吐出ガス封鎖型（第1次基準値）吐出量7.5～7.8m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	〃	1		トラック	〔普通型〕 2t積	〃	1	空気圧縮機及び機械運搬用	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	アスファルトケットル	定置式 タンク容量6,000 ℓ	台	1		ディストリビュータ	自走式 トラック架装式 タンク容量4,000～4,500 ℓ	〃	1		トラック	普通型 2t積	〃	1	注入時の散水、注入層処理用	ロ ス 率	+0.01	
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
ハンドハンマ	20kg級	台	2																																																																																								
空気圧縮機	可搬式・エンジン駆動・スクリュウ型・吐出ガス封鎖型（第1次基準値）吐出量7.5～7.8m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	〃	1																																																																																								
トラック	普通型 2t積	〃	1	空気圧縮機及び機械運搬用																																																																																							
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
アスファルトケットル	定置式 タンク容量6,000 ℓ	台	1																																																																																								
ディストリビュータ	自走式（トラック架装式）タンク容量4,000～4,500 ℓ	〃	1																																																																																								
トラック	普通型 2t積	〃	1	注入時の散水、注入層処理用																																																																																							
削 孔 数	0.1～0.35																																																																																										
ロ ス 率	+0.01																																																																																										
注 入 量	0.001～0.008																																																																																										
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
ハンドハンマ	20kg級	台	2																																																																																								
空気圧縮機	可搬式・エンジン駆動・スクリュウ型・吐出ガス封鎖型（第1次基準値）吐出量7.5～7.8m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	〃	1																																																																																								
トラック	〔普通型〕 2t積	〃	1	空気圧縮機及び機械運搬用																																																																																							
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
アスファルトケットル	定置式 タンク容量6,000 ℓ	台	1																																																																																								
ディストリビュータ	自走式 トラック架装式 タンク容量4,000～4,500 ℓ	〃	1																																																																																								
トラック	普通型 2t積	〃	1	注入時の散水、注入層処理用																																																																																							
ロ ス 率	+0.01																																																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 1/4																																																																																								

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考																																																																																																																																																																										
	<p>4. 施 工 歩 掛</p> <p>4-1 削孔歩掛</p> <p>1日当りの削孔数は350個/日を標準とし、歩掛は次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 削孔歩掛 (100穴当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハ ン ド ハ ン マ 損 料</td> <td>20kg級</td> <td>日</td> <td>0.6</td> <td>0.3×2台</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機 運 転</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリーン・吐出ガス対策型（第1次基準値）吐出量7.5～7.8m³/min 吐出圧力0.7MPa</td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク 運 転</td> <td>普通型 2t積</td> <td>h</td> <td>1.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. トラックの運転労務は含まない。 2. 空気圧縮機は、賃料とする。 3. 諸雑費は、ビット及びビット損耗費、布粒等の費用であり、労務費、賃料、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4-2 注入歩掛</p> <p>1日当り注入量（ディストリビュータ吐出量）は、5.5t/日を標準とし、歩掛は次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 注入歩掛 (1t当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>アスファルトケットル運転</td> <td>定置式 タンク容量6,000ℓ</td> <td>日</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>ディストリビュータ運転</td> <td>自走式（トラック架装式）タンク容量4,000～4,500ℓ</td> <td>人</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク 運 転</td> <td>普通型 2t積</td> <td>h</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 各機械の運転労務は含まない。 2. 諸雑費は、木栓、モルタル等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に、上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4-3 機械運転労務歩掛</p> <p>(1) トラック及びディストリビュータ 「第1編第6章①建設機械運転労務」による。 (2) アスファルトケットル 運転労務は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 アスファルトケットル運転労務 (人/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>労 務 歩 掛</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-4 加熱用燃料</p> <p>加熱用燃料の消費量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 加熱用燃料消費量 (ℓ/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用機械</th> <th>燃 料 名</th> <th>消 費 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ディストリビュータ</td> <td>重油 (A)</td> <td>32 ℓ/日</td> </tr> <tr> <td>アスファルトケットル</td> <td>重油 (A)</td> <td>157 ℓ/日</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	上 木 一 般 世 話 役		人	0.3		特 殊 作 業 員		人	1.6		普 通 作 業 員		人	0.2		ハ ン ド ハ ン マ 損 料	20kg級	日	0.6	0.3×2台	空 気 圧 縮 機 運 転	可搬式・エンジン駆動・スクリーン・吐出ガス対策型（第1次基準値）吐出量7.5～7.8m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	人	0.3		ト ラ ッ ク 運 転	普通型 2t積	h	1.8		諸 雑 費 率		%	9		名 称	規 格	単 位	数 量	上 木 一 般 世 話 役		人	0.2	特 殊 作 業 員		人	0.4	普 通 作 業 員		人	1.0	アスファルトケットル運転	定置式 タンク容量6,000ℓ	日	0.2	ディストリビュータ運転	自走式（トラック架装式）タンク容量4,000～4,500ℓ	人	0.2	ト ラ ッ ク 運 転	普通型 2t積	h	1.2	諸 雑 費 率		%	2	職 種	労 務 歩 掛	特 殊 作 業 員	0.7	使用機械	燃 料 名	消 費 量	ディストリビュータ	重油 (A)	32 ℓ/日	アスファルトケットル	重油 (A)	157 ℓ/日	<p>4. 施 工 歩 掛</p> <p>4-1 削孔歩掛</p> <p>1日当りの削孔数は、350穴/日を標準とし、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 削孔歩掛 (100穴当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハ ン ド ハ ン マ 損 料</td> <td>20kg級</td> <td>日</td> <td>0.6</td> <td>0.3×2台</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機 運 転</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリーン・吐出ガス対策型（第1次基準値）吐出量7.5～7.8m³/min 吐出圧力0.7MPa</td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク 運 転</td> <td>普通型 2t積</td> <td>h</td> <td>1.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. トラックの運転労務は含まない。 2. 空気圧縮機は、賃料とする。 3. 諸雑費は、ビット及びビット損耗費、布粒等の費用であり、労務費、機械賃料、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4-2 注入歩掛</p> <p>1日当り注入量（ディストリビュータ吐出量）は、5.5t/日を標準とし、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 注入歩掛 (1t当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>アスファルトケットル運転</td> <td>定置式 タンク容量6,000ℓ</td> <td>日</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>ディストリビュータ運転</td> <td>自走式（トラック架装式）タンク容量4,000～4,500ℓ</td> <td>人</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク 運 転</td> <td>普通型 2t積</td> <td>h</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 各機械の運転労務は含まない。 2. 諸雑費は、木栓、モルタル等の費用であり、労務費、機械賃料、機械損料及び運転経費の合計額に、上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4-3 機械運転労務歩掛</p> <p>(1) トラック及びディストリビュータ 「第1編第6章①建設機械運転労務」による。 (2) アスファルトケットル 運転労務は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 アスファルトケットル運転労務 (人/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>労 務 歩 掛</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-4 加熱用燃料</p> <p>加熱用燃料の消費量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 加熱用燃料消費量 (ℓ/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用機械</th> <th>燃 料 名</th> <th>消 費 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ディストリビュータ</td> <td>重油 (A)</td> <td>32 ℓ/日</td> </tr> <tr> <td>アスファルトケットル</td> <td>重油 (A)</td> <td>157 ℓ/日</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	上 木 一 般 世 話 役		人	0.3		特 殊 作 業 員		人	1.6		普 通 作 業 員		人	0.2		ハ ン ド ハ ン マ 損 料	20kg級	日	0.6	0.3×2台	空 気 圧 縮 機 運 転	可搬式・エンジン駆動・スクリーン・吐出ガス対策型（第1次基準値）吐出量7.5～7.8m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	人	0.3		ト ラ ッ ク 運 転	普通型 2t積	h	1.8		諸 雑 費 率		%	9		名 称	規 格	単 位	数 量	上 木 一 般 世 話 役		人	0.2	特 殊 作 業 員		人	0.4	普 通 作 業 員		人	1.0	アスファルトケットル運転	定置式 タンク容量6,000ℓ	日	0.2	ディストリビュータ運転	自走式（トラック架装式）タンク容量4,000～4,500ℓ	人	0.2	ト ラ ッ ク 運 転	普通型 2t積	h	1.2	諸 雑 費 率		%	2	職 種	労 務 歩 掛	特 殊 作 業 員	0.7	使用機械	燃 料 名	消 費 量	ディストリビュータ	重油 (A)	32 ℓ/日	アスファルトケットル	重油 (A)	157 ℓ/日	<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																									
上 木 一 般 世 話 役		人	0.3																																																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		人	1.6																																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		人	0.2																																																																																																																																																																										
ハ ン ド ハ ン マ 損 料	20kg級	日	0.6	0.3×2台																																																																																																																																																																									
空 気 圧 縮 機 運 転	可搬式・エンジン駆動・スクリーン・吐出ガス対策型（第1次基準値）吐出量7.5～7.8m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	人	0.3																																																																																																																																																																										
ト ラ ッ ク 運 転	普通型 2t積	h	1.8																																																																																																																																																																										
諸 雑 費 率		%	9																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																																																																																										
上 木 一 般 世 話 役		人	0.2																																																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		人	0.4																																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		人	1.0																																																																																																																																																																										
アスファルトケットル運転	定置式 タンク容量6,000ℓ	日	0.2																																																																																																																																																																										
ディストリビュータ運転	自走式（トラック架装式）タンク容量4,000～4,500ℓ	人	0.2																																																																																																																																																																										
ト ラ ッ ク 運 転	普通型 2t積	h	1.2																																																																																																																																																																										
諸 雑 費 率		%	2																																																																																																																																																																										
職 種	労 務 歩 掛																																																																																																																																																																												
特 殊 作 業 員	0.7																																																																																																																																																																												
使用機械	燃 料 名	消 費 量																																																																																																																																																																											
ディストリビュータ	重油 (A)	32 ℓ/日																																																																																																																																																																											
アスファルトケットル	重油 (A)	157 ℓ/日																																																																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																									
上 木 一 般 世 話 役		人	0.3																																																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		人	1.6																																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		人	0.2																																																																																																																																																																										
ハ ン ド ハ ン マ 損 料	20kg級	日	0.6	0.3×2台																																																																																																																																																																									
空 気 圧 縮 機 運 転	可搬式・エンジン駆動・スクリーン・吐出ガス対策型（第1次基準値）吐出量7.5～7.8m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	人	0.3																																																																																																																																																																										
ト ラ ッ ク 運 転	普通型 2t積	h	1.8																																																																																																																																																																										
諸 雑 費 率		%	9																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																																																																																										
上 木 一 般 世 話 役		人	0.2																																																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		人	0.4																																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		人	1.0																																																																																																																																																																										
アスファルトケットル運転	定置式 タンク容量6,000ℓ	日	0.2																																																																																																																																																																										
ディストリビュータ運転	自走式（トラック架装式）タンク容量4,000～4,500ℓ	人	0.2																																																																																																																																																																										
ト ラ ッ ク 運 転	普通型 2t積	h	1.2																																																																																																																																																																										
諸 雑 費 率		%	2																																																																																																																																																																										
職 種	労 務 歩 掛																																																																																																																																																																												
特 殊 作 業 員	0.7																																																																																																																																																																												
使用機械	燃 料 名	消 費 量																																																																																																																																																																											
ディストリビュータ	重油 (A)	32 ℓ/日																																																																																																																																																																											
アスファルトケットル	重油 (A)	157 ℓ/日																																																																																																																																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 2/4																																																																																																																																																																										

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																																																																					
<p>5. 内訳書及び単価表</p> <p>(1) 削孔100穴当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td colspan="2">普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td colspan="2">空気圧縮機運転</td> <td>可離式・エンジン駆動・スクリーン型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量7.5~7.8m³/min 吐出圧力0.7MPa</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ハンドハンマ</td> <td>20kg級</td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トラック運転</td> <td>普通型 2t積</td> <td>h</td> <td></td> <td>表4.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td colspan="2">諸雑費</td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) アスファルト注入1t当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td colspan="2">普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ブロンアスファルト</td> <td>JIS K 2207 針入度20~30</td> <td>t</td> <td></td> <td>式3.1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">アスファルトケットル運転</td> <td>定置式 タンク容量6,000 ℓ</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.2 単価表(3) 機械損料</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ディストリビュータ運転</td> <td>自走式(トラック架装式) タンク容量4,000~4,500 ℓ</td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.2 単価表(4) 機械損料</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トラック運転</td> <td>普通型 2t積</td> <td>h</td> <td></td> <td>表4.2 機械損料</td> </tr> <tr> <td colspan="2">諸雑費</td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) アスファルトケットル(6,000ℓ)運転1日当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">加熱用燃料費</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">アスファルトケットル</td> <td>定置式 タンク容量6,000 ℓ</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>機械損料</td> </tr> <tr> <td colspan="2">諸雑費</td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称		規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役			人		表4.1	特殊作業員			人		〃	普通作業員			人		〃	空気圧縮機運転		可離式・エンジン駆動・スクリーン型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量7.5~7.8m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	日		表4.1 機械賃料	ハンドハンマ		20kg級	人		表4.1 機械損料	トラック運転		普通型 2t積	h		表4.1 機械損料	諸雑費		式	1		表4.1	計						名称		規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役			人		表4.2	特殊作業員			人		〃	普通作業員			人		〃	ブロンアスファルト		JIS K 2207 針入度20~30	t		式3.1	アスファルトケットル運転		定置式 タンク容量6,000 ℓ	日		表4.2 単価表(3) 機械損料	ディストリビュータ運転		自走式(トラック架装式) タンク容量4,000~4,500 ℓ	人		表4.2 単価表(4) 機械損料	トラック運転		普通型 2t積	h		表4.2 機械損料	諸雑費		式	1		表4.2	計						名称		規格	単位	数量	摘要	特殊作業員			人		表4.3	加熱用燃料費			ℓ		表4.4	アスファルトケットル		定置式 タンク容量6,000 ℓ	日	1	機械損料	諸雑費		式	1			計						<p>現行どおり</p> <p>→</p> <table border="1"> <tr> <td>トラック運転</td> <td>普通型 2t積</td> <td>h</td> <td></td> <td>表4.1 機械損料</td> </tr> </table> <p>現行どおり</p> <p>→</p> <table border="1"> <tr> <td>ディストリビュータ運転</td> <td>自走式(トラック架装式) タンク容量4,000~4,500 ℓ</td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.2 単価表(4) 機械損料</td> </tr> <tr> <td>トラック運転</td> <td>普通型 2t積</td> <td>h</td> <td></td> <td>表4.2 機械損料</td> </tr> </table> <p>現行どおり</p>	トラック運転	普通型 2t積	h		表4.1 機械損料	ディストリビュータ運転	自走式(トラック架装式) タンク容量4,000~4,500 ℓ	人		表4.2 単価表(4) 機械損料	トラック運転	普通型 2t積	h		表4.2 機械損料	<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
名称		規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																			
土木一般世話役			人		表4.1																																																																																																																																																																			
特殊作業員			人		〃																																																																																																																																																																			
普通作業員			人		〃																																																																																																																																																																			
空気圧縮機運転		可離式・エンジン駆動・スクリーン型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量7.5~7.8m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	日		表4.1 機械賃料																																																																																																																																																																			
ハンドハンマ		20kg級	人		表4.1 機械損料																																																																																																																																																																			
トラック運転		普通型 2t積	h		表4.1 機械損料																																																																																																																																																																			
諸雑費		式	1		表4.1																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																								
名称		規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																			
土木一般世話役			人		表4.2																																																																																																																																																																			
特殊作業員			人		〃																																																																																																																																																																			
普通作業員			人		〃																																																																																																																																																																			
ブロンアスファルト		JIS K 2207 針入度20~30	t		式3.1																																																																																																																																																																			
アスファルトケットル運転		定置式 タンク容量6,000 ℓ	日		表4.2 単価表(3) 機械損料																																																																																																																																																																			
ディストリビュータ運転		自走式(トラック架装式) タンク容量4,000~4,500 ℓ	人		表4.2 単価表(4) 機械損料																																																																																																																																																																			
トラック運転		普通型 2t積	h		表4.2 機械損料																																																																																																																																																																			
諸雑費		式	1		表4.2																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																								
名称		規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																			
特殊作業員			人		表4.3																																																																																																																																																																			
加熱用燃料費			ℓ		表4.4																																																																																																																																																																			
アスファルトケットル		定置式 タンク容量6,000 ℓ	日	1	機械損料																																																																																																																																																																			
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																								
トラック運転	普通型 2t積	h		表4.1 機械損料																																																																																																																																																																				
ディストリビュータ運転	自走式(トラック架装式) タンク容量4,000~4,500 ℓ	人		表4.2 単価表(4) 機械損料																																																																																																																																																																				
トラック運転	普通型 2t積	h		表4.2 機械損料																																																																																																																																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																																																																																																																																																																					

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																													
	<p>現 行</p> <p>(4) ディストリビュータ運転1口当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転手(一般)</td> <td></td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加熱用燃料費</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>運用燃料費</td> <td></td> <td>"</td> <td>運転1h当り燃料消費量 ×T</td> <td>「第1編第6章②原動機燃料消費量」による</td> </tr> <tr> <td>ディストリビュータ</td> <td>自走式(トラック架装式)タンク容量 4,000~4,500l</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>機械損料</td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>普通型 6t~6.5t積</td> <td>h</td> <td>4.3</td> <td>機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 計</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ディストリビュータの運転日当り標準運転時間(T)は、4.3h/日とする。</p> <p>(5) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・吐出ガス対蹠型(第1次基準値) 吐出量$5 \sim 7.8m^3/min$ 吐出圧力$0.7MPa$</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量$\rightarrow 50$ 機械賃料数量$\rightarrow 1.7$</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク</td> <td>普通型 2t積</td> <td>機-6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	運転手(一般)		人	1		加熱用燃料費		t		表4.4	運用燃料費		"	運転1h当り燃料消費量 ×T	「第1編第6章②原動機燃料消費量」による	ディストリビュータ	自走式(トラック架装式)タンク容量 4,000~4,500l	日	1	機械損料	トラック	普通型 6t~6.5t積	h	4.3	機械損料	諸 雑 費 計		式	1		機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・吐出ガス対蹠型(第1次基準値) 吐出量 $5 \sim 7.8m^3/min$ 吐出圧力 $0.7MPa$	機-16	燃料消費量 $\rightarrow 50$ 機械賃料数量 $\rightarrow 1.7$	ト ラ ッ ク	普通型 2t積	機-6		<p>改 正</p> <p>現 行</p> <p>現行どおり</p> <table border="1"> <tr> <td>ディストリビュータ</td> <td>自走式トラック架装式タンク容量 4,000~4,500l</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>機械損料</td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>普通型 6t~6.5t積</td> <td>h</td> <td>4.3</td> <td>機械損料</td> </tr> </table> <p>現行どおり</p> <table border="1"> <tr> <td>トラック</td> <td>普通型 2t積</td> <td>機-6</td> <td></td> </tr> </table>	ディストリビュータ	自走式 トラック架装式タンク容量 4,000~4,500l	日	1	機械損料	トラック	普通型 6t~6.5t積	h	4.3	機械損料	トラック	普通型 2t積	機-6		<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																												
運転手(一般)		人	1																																																													
加熱用燃料費		t		表4.4																																																												
運用燃料費		"	運転1h当り燃料消費量 ×T	「第1編第6章②原動機燃料消費量」による																																																												
ディストリビュータ	自走式(トラック架装式)タンク容量 4,000~4,500l	日	1	機械損料																																																												
トラック	普通型 6t~6.5t積	h	4.3	機械損料																																																												
諸 雑 費 計		式	1																																																													
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																													
空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・吐出ガス対蹠型(第1次基準値) 吐出量 $5 \sim 7.8m^3/min$ 吐出圧力 $0.7MPa$	機-16	燃料消費量 $\rightarrow 50$ 機械賃料数量 $\rightarrow 1.7$																																																													
ト ラ ッ ク	普通型 2t積	機-6																																																														
ディストリビュータ	自走式 トラック架装式タンク容量 4,000~4,500l	日	1	機械損料																																																												
トラック	普通型 6t~6.5t積	h	4.3	機械損料																																																												
トラック	普通型 2t積	機-6																																																														
積算上の注意事項	IV-3-⑥-4		(控え頁) 4/4																																																													

工 種	道路付属構造物塗替工
-----	------------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																																						
現	行	改 正	備 考																																																																																																						
	<p>2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 素地調整 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 素地調整 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>構造物区分</th> <th>機械使用区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全高 4m 未満のポール類</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>全高 4m 以上 10m 未満のポール類</td> <td>持込</td> </tr> <tr> <td></td> <td>貸与</td> </tr> <tr> <td>全高 10m 以上 12m 以下のポール類</td> <td>持込</td> </tr> <tr> <td></td> <td>貸与</td> </tr> <tr> <td>防護柵類</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>落石防止柵類</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、塗装を行う際の素地調整(ケレン)、電力に関する経費、ディスクサンダ、ワイヤブラシ、ハンマ、タガネ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 素地調整作業の種類は、3種ケレンを標準とする。 3. ポール類の高さは、路面からの高さとする。 4. 塗替作業にともない対象構造物の撤去・設置が必要な場合は、別途考慮する。 5. 全高 2m 以上 4m 未満のポール類において足場が必要な場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">機械</td> <td>K 1</td> <td>高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m 高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 12.0m 積載荷重 200kg 定員 2名</td> <td>・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・貸与の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 1</td> <td>塗装工</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 2</td> <td>運転手(一般) 運転手(特殊)</td> <td>全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td>全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">IV-3-⑧-2</p>	構造物区分	機械使用区分	全高 4m 未満のポール類	—	全高 4m 以上 10m 未満のポール類	持込		貸与	全高 10m 以上 12m 以下のポール類	持込		貸与	防護柵類	—	落石防止柵類	—	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m 高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 12.0m 積載荷重 200kg 定員 2名	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・貸与の場合	K 2	—		K 3	—		R 1	塗装工		労務	R 2	運転手(一般) 運転手(特殊)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合	R 3	—		R 4	—		Z 1	軽油 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合	材料	Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 素地調整 代表機材規格一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">機械</td> <td>K 1</td> <td>高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 11.0~12m 高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 11.0~12.0m 積載荷重 200kg 定員 2名</td> <td>・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・貸与の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 1</td> <td>塗装工</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 2</td> <td>運転手(一般) 運転手(特殊)</td> <td>全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td>全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">記載の変更</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 11.0~12m 高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 11.0~12.0m 積載荷重 200kg 定員 2名	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・貸与の場合	K 2	—		K 3	—		R 1	塗装工		労務	R 2	運転手(一般) 運転手(特殊)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合	R 3	—		R 4	—		Z 1	軽油 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合	材料	Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		備 考
構造物区分	機械使用区分																																																																																																								
全高 4m 未満のポール類	—																																																																																																								
全高 4m 以上 10m 未満のポール類	持込																																																																																																								
	貸与																																																																																																								
全高 10m 以上 12m 以下のポール類	持込																																																																																																								
	貸与																																																																																																								
防護柵類	—																																																																																																								
落石防止柵類	—																																																																																																								
項目	代表機材規格	備考																																																																																																							
機械	K 1	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m 高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 12.0m 積載荷重 200kg 定員 2名	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・貸与の場合																																																																																																						
	K 2	—																																																																																																							
	K 3	—																																																																																																							
	R 1	塗装工																																																																																																							
労務	R 2	運転手(一般) 運転手(特殊)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合																																																																																																						
	R 3	—																																																																																																							
	R 4	—																																																																																																							
	Z 1	軽油 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合																																																																																																						
材料	Z 2	—																																																																																																							
	Z 3	—																																																																																																							
	Z 4	—																																																																																																							
	市場単価	S	—																																																																																																						
項目	代表機材規格	備考																																																																																																							
機械	K 1	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 11.0~12m 高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 11.0~12.0m 積載荷重 200kg 定員 2名	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・貸与の場合																																																																																																						
	K 2	—																																																																																																							
	K 3	—																																																																																																							
	R 1	塗装工																																																																																																							
労務	R 2	運転手(一般) 運転手(特殊)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合																																																																																																						
	R 3	—																																																																																																							
	R 4	—																																																																																																							
	Z 1	軽油 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合																																																																																																						
材料	Z 2	—																																																																																																							
	Z 3	—																																																																																																							
	Z 4	—																																																																																																							
	市場単価	S	—																																																																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																																																																																						

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(3) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.8 付属構造物塗替 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類の場合 ・賃料
		・全高 10m 以上 12m 以下のポール類の場合 ・賃料
		・貸与の場合
	K 2	—
K 3	—	
労務	R 1 塗装工	
	R 2 運転手 (一般)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(特送)の場合
	R 2 運転手 (特殊)	全高 10m 以上 12m 以下のポール類(特送)の場合及び貸与の場合
	R 3	—
	R 4	—
材料	Z 1 鉛・クロムフリーさび止めペイント	下塗の場合
	フェノール樹脂 M10 塗料	中塗、上塗の場合
	長油性フタル酸樹脂塗料(JIS K5516 2種)淡彩色	
	塩化ゴム系塗料淡彩色	
	Z 2 軽油 バトルール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合
Z 3	—	
Z 4	—	
市場単価	S	—

IV-3-⑧-5

(3) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.8 付属構造物塗替 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類の場合 ・賃料
		・全高 10m 以上 12m 以下のポール類の場合 ・賃料
		・貸与の場合
	K 2	—
K 3	—	
労務	R 1 塗装工	
	R 2 運転手 (一般)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(特送)の場合
	R 2 運転手 (特殊)	全高 10m 以上 12m 以下のポール類(特送)の場合及び貸与の場合
	R 3	—
	R 4	—
材料	Z 1 鉛・クロムフリーさび止めペイント	下塗の場合
	フェノール樹脂 M10 塗料	中塗、上塗の場合
	長油性フタル酸樹脂塗料(JIS K5516 2種)淡彩色	
	塩化ゴム系塗料淡彩色	
	Z 2 軽油 バトルール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合
Z 3	—	
Z 4	—	
市場単価	S	—

記載の変更



積算上の注意事項		(控え頁) 2/2
----------	--	--------------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																			
現	行	改 正	備 考																																			
<p>6. 塗装作業(現場塗装) 塗装作業(現場塗装)は、「第VI編第1章③橋梁塗装工」による。</p> <p>7. クラック処理 クラック処理を計上する場合は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7.1 クラック処理歩掛 (クラック処理100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>12.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シール材</td> <td>エポキシ</td> <td>kg</td> <td>必要量計上</td> <td>必要量=設計量×(1+ロス率)</td> </tr> <tr> <td>注入材</td> <td>エポキシ</td> <td>人</td> <td>必要量計上</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. シール材及び注入材の数量は、積上げにより算出するものとし、ロス率は+0.15とする。 2. 諸雑費は、材料(注入パイプ、エア抜きパイプ、シンナー)、機械器具費(ハンドミキサ、クラウト注入機)及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>8. 足場工 8-1 床版補強工における足場工費の算定は、次式による(橋種は、プレートガータ、ボックス、トラス、アーチ等各橋種共通)。 なお、桁高1.5m以上については、中段足場の工費を含んでいる。</p> <p>(1) 足場(板張防護含む) 床版補強工における足場は、全面足場板(板張防護兼用)を標準とする。 桁高1.5m以上の場合 足場工費 = $(470X + 0.153y) \times A$ ……式8.1 桁高1.5m未満の場合 足場工費 = $(425X + 0.130y) \times A$ ……式8.2 X: 主体足場を架設している供用月数 (供用月数は小数点第1位とし、小数点第2位を四捨五入する) A: 足場工の必要橋面積 (m²) y: 橋りょう特殊工単価 (円/人)</p> <p>(2) 朝顔 防護等の設置により朝顔が必要な場合は、次式による。 両側設置の場合 朝顔工費 = $(50x_1 + 0.022y) \times A$ ……式8.3 片側設置の場合 両側設置の1/2とする。 x₁: 朝顔を架設している供用月数 (供用月数は小数点第1位とし、小数点第2位を四捨五入する) A: 足場工の必要橋面積 (m²) y: 橋りょう特殊工単価 (円/人)</p> <p>(3) 足場工の必要橋面積は、一般に次式により算定する。 A = W × ℓ A: 橋面積 (m²) W: 全幅員(地覆外縁間距離) (m) ℓ: 足場必要長 (m) (注) 足場必要長は一般に径間長とする。</p> <p style="text-align: right;">IV-3-⑩-6</p>		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	4.7		特殊作業員		人	12.9		普通作業員		人	4.2		シール材	エポキシ	kg	必要量計上	必要量=設計量×(1+ロス率)	注入材	エポキシ	人	必要量計上	人	諸雑費率		%	4		<p>8. 足場工 8-1 床版補強工における足場工費の算定は、次式による(橋種は、プレートガータ、ボックス、トラス、アーチ等各橋種共通)。 なお、桁高1.5m以上については、中段足場の工費を含んでいる。</p> <p>(1) 足場(板張防護含む) 床版補強工における足場は、全面足場板(板張防護兼用)を標準とする。 桁高1.5m以上の場合 足場工費 = $(470.65X + 0.153y) \times A$ ……式8.1 桁高1.5m未満の場合 足場工費 = $(425X + 0.130y) \times A$ ……式8.2 X: 主体足場を架設している供用月数 (供用月数は小数点第1位とし、小数点第2位を四捨五入する) A: 足場工の必要橋面積 (m²) y: 橋りょう特殊工単価 (円/人)</p>	<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																		
土木一般世話役		人	4.7																																			
特殊作業員		人	12.9																																			
普通作業員		人	4.2																																			
シール材	エポキシ	kg	必要量計上	必要量=設計量×(1+ロス率)																																		
注入材	エポキシ	人	必要量計上	人																																		
諸雑費率		%	4																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																			

改正理由	一部改正	改正 現行	
現	改	正	備 考
<p>2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 掘削・埋戻工及び土留設置・撤去工が必要な場合は、別途計上する。</p>	<p>2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 掘削・埋戻工及び土留設置・撤去工が必要な場合は、別途計上する。</p>	<p>記載の変更</p>	
積算上の注意事項	IV-3-①-3		(控え頁) 1/1

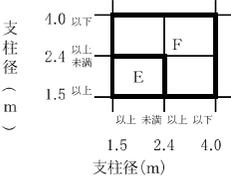
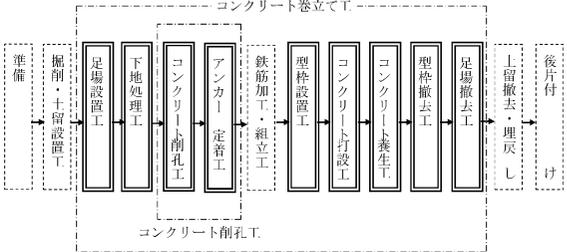
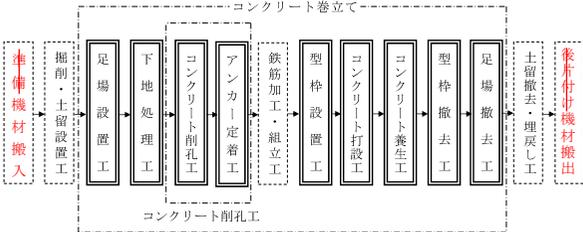
工 種	橋梁補強工(鋼板巻立て)(2)
-----	-----------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改	正
<p>①-2 橋梁補強工(鋼板巻立て)(2)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、「①-1 橋梁補強工(鋼板巻立て)(1)」が適用出来る寸法の範囲を外れた橋脚の鋼板巻立てに適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 1-1-1 鋼板取付、シール材(材料費)、注入材(材料費) (1) 矩形、小判形支柱(幅1~10m, 奥行き1~6m), 円形支柱(径1~6m)以外の橋脚の場合 (2) シール材がエポキシ樹脂の場合 (3) 注入材が無収縮モルタル又はエポキシ樹脂の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 1-2-1 鋼板取付、シール材(材料費)、注入材(材料費) (1) 1-1-1(1)~(3)のいずれか1つでも該当しない場合 (2) 梁の補強の場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">IV-3-①-15</p>	<p>現行どおり</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	<p>記載の変更</p>	
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1

工 種	橋梁補強工(コンクリート巻立て)(1)
-----	---------------------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考
現	行	改	正
<p>①-3 橋梁補強工(コンクリート巻立て)(1)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、RC橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)の補強用コンクリート巻立て工を行う場合に適用する。なお、支柱の断面形状及び断面寸法が鉛直方向に一定の構造物を対象とし、梁及びフーチングの補強には適用しない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 1-1-1 コンクリート削孔 (1) フーチング及び支柱のコンクリート削孔の場合 (2) エポキシ樹脂系注入材によるアンカー定着作業の場合 (3) アンカー材径がD16~D35の場合 1-1-2 コンクリート巻立て (1) 図1.1に示す、矩形、小判形支柱(幅1.0~15.0m、奥行1.0~4.0m)の巻立て厚0.25mのコンクリート巻立て補強の場合 (2) 図1.2に示す、円形支柱(径1.5~4.0m)の巻立て厚0.25mのコンクリート巻立て補強の場合 1-2 適用出来ない範囲 1-2-1 コンクリート削孔 (1) 梁及びフーチングの補強のためのコンクリート削孔の場合 (2) PC中間貫通鋼材貫入のための削孔の場合 (3) 注入材が不要なアンカー材を使用する場合 (4) アンカー注入材がエポキシ樹脂以外の場合 1-2-2 コンクリート巻立て (1) 梁の補強の場合 また、本項の適用を外れる場合は、橋梁補強工(コンクリート巻立て)(2)を適用する。</p> <p style="text-align: center;">図1.1 矩形(小判形を含む)支柱の適用範囲 (注) 支柱幅・支柱奥行は、補強前の支柱寸法とする。</p> <p style="text-align: center;">IV-3-①-19</p>	<p style="text-align: center;">現 行 ど お り</p> <p style="text-align: center;">改 正 ど お り</p> <p style="text-align: center;">現 行 ど お り</p>	<p>1-1-2 コンクリート巻立て (1) 図1.1に示す、矩形、小判形支柱(幅1.0~15.0m、奥行1.0~4.0m)の巻立て厚0.25m、巻立て高さ20m以下のコンクリート巻立て補強の場合 (2) 図1.2に示す、円形支柱(径1.5~4.0m)の巻立て厚0.25m、巻立て高さ20m以下のコンクリート巻立て補強の場合</p>	<p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/4

工 種	橋梁補強工(コンクリート巻立て)(1)
-----	---------------------

改正理由	一部改正	改正 現 行	
現	改 正		備 考
<p>支柱径 (m)</p>  <p>(注) 支柱径は、補強前の支柱寸法とする。</p> <p>図1.2 円形支柱の適用範囲</p> <p>2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>コンクリート削孔工</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 掘削・埋戻し、土留設置・撤去工は、別途計上する。 3. 鉄筋加工・組立工は、「第VI編第2章①-1鉄筋工（太径鉄筋含む）」により別途計上する。</p> <p>IV-3-⑩-20</p>	<p>現行どおり</p> <p>2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>コンクリート削孔工</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 掘削・埋戻し、土留設置・撤去工は、別途計上する。 →2. 鉄筋加工・組立工は、「第VI編第2章①-1鉄筋工（太径鉄筋含む）」により別途計上する。</p>	<p>記載の変更</p>	
積算上の注意事項			(控え頁) 2/4

改正理由	一部改正	改正																																			
		現 行	備 考																																		
	<p>3. 施工パッケージ 3-1 コンクリート削孔 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 コンクリート削孔 積算条件区分一覧 (積算単位：箇所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>アンカー材径</th> <th>削 孔 深</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">D16</td><td>200mm 以上 250mm 未満</td></tr> <tr><td>250mm 以上 300mm 未満</td></tr> <tr><td>300mm 以上 360mm 以下</td></tr> <tr><td rowspan="3">D19</td><td>200mm 以上 250mm 未満</td></tr> <tr><td>250mm 以上 300mm 未満</td></tr> <tr><td>300mm 以上 350mm 未満</td></tr> <tr><td rowspan="3">D22</td><td>350mm 以上 400mm 以下</td></tr> <tr><td>300mm 以上 350mm 未満</td></tr> <tr><td>350mm 以上 420mm 未満</td></tr> <tr><td rowspan="3">D25</td><td>420mm 以上 500mm 未満</td></tr> <tr><td>500mm 以上 580mm 以下</td></tr> <tr><td>320mm 以上 390mm 未満</td></tr> <tr><td rowspan="3">D29</td><td>390mm 以上 460mm 未満</td></tr> <tr><td>460mm 以上 540mm 未満</td></tr> <tr><td>540mm 以上 600mm 未満</td></tr> <tr><td rowspan="3">D32</td><td>400mm 以上 460mm 未満</td></tr> <tr><td>460mm 以上 530mm 未満</td></tr> <tr><td>530mm 以上 600mm 未満</td></tr> <tr><td rowspan="3">D35</td><td>600mm 以上 690mm 以下</td></tr> <tr><td>480mm 以上 540mm 未満</td></tr> <tr><td>540mm 以上 600mm 未満</td></tr> <tr><td></td><td>600mm 以上 670mm 未満</td></tr> <tr><td></td><td>670mm 以上 760mm 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、フーチング及び支柱のコンクリート削孔、エポキシ樹脂注入材によるアンカー定着までの作業(エポキシ樹脂の材料費を含む)の他、ハンドドリル(空圧式)、電動ハンマドリル、空気圧縮機の機械損料及び空気圧縮機の燃料、エポキシ樹脂注入器具費、ロッド・ビットの消耗費及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、アンカー材(材料費)は含まない。 2. 削孔径は、アンカー材径+10mmとする。 3. エポキシ樹脂の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.09) 4. エポキシ樹脂の単位質量は、1,200kg/m³を標準とする。 5. アンカー材の材料費は別途計上する。 6. 橋脚基礎の主鉄筋を切断しないよう事前に鉄筋位置の確認を行う場合には、共通仮設費の技術管理費にて別途計上する。 7. 不達孔(削孔ロス)を含み、不達孔の有無にかかわらず適用出来る。 8. 不達孔の補修費用は別途計上する。</p> <p>IV-3-⑩-21</p>	アンカー材径	削 孔 深	D16	200mm 以上 250mm 未満	250mm 以上 300mm 未満	300mm 以上 360mm 以下	D19	200mm 以上 250mm 未満	250mm 以上 300mm 未満	300mm 以上 350mm 未満	D22	350mm 以上 400mm 以下	300mm 以上 350mm 未満	350mm 以上 420mm 未満	D25	420mm 以上 500mm 未満	500mm 以上 580mm 以下	320mm 以上 390mm 未満	D29	390mm 以上 460mm 未満	460mm 以上 540mm 未満	540mm 以上 600mm 未満	D32	400mm 以上 460mm 未満	460mm 以上 530mm 未満	530mm 以上 600mm 未満	D35	600mm 以上 690mm 以下	480mm 以上 540mm 未満	540mm 以上 600mm 未満		600mm 以上 670mm 未満		670mm 以上 760mm 以下	<p>現行どおり</p> <p>3. エポキシ樹脂の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.090, 19)</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
アンカー材径	削 孔 深																																				
D16	200mm 以上 250mm 未満																																				
	250mm 以上 300mm 未満																																				
	300mm 以上 360mm 以下																																				
D19	200mm 以上 250mm 未満																																				
	250mm 以上 300mm 未満																																				
	300mm 以上 350mm 未満																																				
D22	350mm 以上 400mm 以下																																				
	300mm 以上 350mm 未満																																				
	350mm 以上 420mm 未満																																				
D25	420mm 以上 500mm 未満																																				
	500mm 以上 580mm 以下																																				
	320mm 以上 390mm 未満																																				
D29	390mm 以上 460mm 未満																																				
	460mm 以上 540mm 未満																																				
	540mm 以上 600mm 未満																																				
D32	400mm 以上 460mm 未満																																				
	460mm 以上 530mm 未満																																				
	530mm 以上 600mm 未満																																				
D35	600mm 以上 690mm 以下																																				
	480mm 以上 540mm 未満																																				
	540mm 以上 600mm 未満																																				
	600mm 以上 670mm 未満																																				
	670mm 以上 760mm 以下																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																																		

改正理由	一部改正	改正 現行																																													
現 行		改 正																																													
<p>3-3 コンクリート巻立て (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.3 コンクリート巻立て 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支柱区分</th> <th>施工内容</th> <th>生コンクリート規格</th> <th>養生工の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">(表3.5)</td> <td>a 施工</td> <td rowspan="4">(表3.6)</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>b 施工</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>c 施工</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>d 施工</td> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、コンクリート巻立て工における下地処理、足場・型枠設置、コンクリート打設・養生、足場・型枠撤去までの作業、足場設置・撤去に使用するラフテレーンクレーン賃料、ホースの優先作業を行う機械付補助労務の他、下地処理に使用するビックハンマ、空気圧縮機の機械損料及び空気圧縮機の燃料、コンクリート打設に使用するコンクリートバイブレータ損料、ポンプ損料及び養生マット等、枠組足場仮設材、一般型枠及び合板円形型枠仮設材、既設排水等の撤去設置(新設は含まない)等及び電力に関する経費等、その施工に必要な機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 各施工内容に含まれている施工区分・施工内容は、次表とする。</p> <p>表3.4 施工区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工区分・施工内容</th> <th>a 施工</th> <th>b 施工</th> <th>c 施工</th> <th>d 施工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去工</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>下地処理工</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>型枠設置・撤去工</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>コンクリート打設工</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>コンクリート養生工</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「○」が施工パッケージに含まれる。</p> <p>3. 下地処理は、チッピングを標準とする。</p> <p>4. 足場は、枠組足場(手摺先行型)を標準とし、単管足場及び単管傾斜足場を使用する場合には別途計上する。</p> <p>5. 枠組足場仮設材の内訳は、壁つなぎ、敷板、建枠、筋違、板付布枠、連結ピン、アームロック、ジャッキベース、手摺柱、手摺、手摺枠(二段手摺の機能を有する)、幅木、階段、養生ネット(メッシュシート)、安全ネット等、及び仮設材の持上げ(下)げ機械に要する費用とする。</p> <p>6. 一般型枠及び合板円形型枠仮設材の内訳は、型枠用合板、鋼製型枠、さん木、電動工具、電力に関する経費、組立支持材及びはく離剤等及び仮設材の持上げ(下)げに必要な機械(トラック(クレーン装置付))に要する費用とする。</p> <p>7. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.04)</p> <p>8. コンクリート養生は、一般養生、特殊養生(練炭)及び特殊養生(ジェットヒータ)にかかわらず適用出来る。</p> <p>9. 仮囲い内ジェットヒータ養生を必要とする場合は、養生工無しを選択し、養生費は、「第II編 第5章 巻-2 雪害仮囲い工」により別途計上する。</p>		支柱区分	施工内容	生コンクリート規格	養生工の有無	(表3.5)	a 施工	(表3.6)	有り	b 施工	無し	c 施工	有り	d 施工	無し	施工区分・施工内容	a 施工	b 施工	c 施工	d 施工	足場設置・撤去工	○	○	—	—	下地処理工	○	—	○	—	型枠設置・撤去工	○	○	○	○	コンクリート打設工	○	○	○	○	コンクリート養生工	○	○	○	○	<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の修正・削除(歩掛改定に伴う)</p>
支柱区分	施工内容	生コンクリート規格	養生工の有無																																												
(表3.5)	a 施工	(表3.6)	有り																																												
	b 施工		無し																																												
	c 施工		有り																																												
	d 施工		無し																																												
施工区分・施工内容	a 施工	b 施工	c 施工	d 施工																																											
足場設置・撤去工	○	○	—	—																																											
下地処理工	○	—	○	—																																											
型枠設置・撤去工	○	○	○	○																																											
コンクリート打設工	○	○	○	○																																											
コンクリート養生工	○	○	○	○																																											
積算上の注意事項	IV-3-⑩-23		(控え頁) 4/4																																												

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
	<p>①-4 橋梁補強工(コンクリート巻立て) (2)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、「橋梁補強工(コンクリート巻立て) (1)」が適用範囲外のRC橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)のコンクリート巻立て工における足場工, 下地処理工, 型枠工, コンクリート工に適用する。なお, 支柱の断面形状及び断面寸法が鉛直方向に一定の構造物を対象とし, 梁及びフーチングの補強には適用しない。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは, 下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは, 二重実線部分のみである。 2. 掘削・埋戻し工, 土留設置・撤去工は, 別途計上する。 3. コンクリート削孔工, アンカー定着工は, 「第IV編第3章①-3 橋梁補強工(コンクリート巻立て) (1)」により別途計上する。 4. 鉄筋加工・組立工は, 「第VI編第2章①-1 鉄筋工(太径鉄筋含む)」により別途計上する。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 足場(適用範囲外コンクリート巻立て工) (1) 条件区分 足場(適用範囲外コンクリート巻立て工)における積算条件区分はない。 積算単位は, 掛㎡とする。 (注) 1. コンクリート巻立て工における足場の設置・撤去の他, 壁つなぎ, 敷板, 建柱, 筋違, 板付布, 連結ピン, アームロック, ジャッキベース, 手摺柱, 手摺, 手摺棒(二段手摺の機能を有する), 幅木, 階段, 養生ネット(メッシュシート), 安全ネット等の費用等, その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 足場は, 枠組足場(手摺先行型)を標準とする。 3. 単管足場及び単管傾斜足場については別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">IV-3-①-28</p>	<p>現行どおり</p> <p>2. 施工概要 施工フローは, 下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは, 二重実線部分のみである。 2. 掘削・埋戻し工, 土留設置・撤去工は, 別途計上する。 2. コンクリート削孔工, アンカー定着工は, 「第IV編第3章①-3 橋梁補強工(コンクリート巻立て) (1)」により別途計上する。 4.3. 鉄筋加工・組立工は, 「第VI編第2章①-1 鉄筋工(太径鉄筋含む)」により別途計上する。</p> <p>現行どおり</p>	記載の変更
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																										
現 行		改 正																																																																																										
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.1 足場(適用範囲外コンクリート巻立て工) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	とび工		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.1 足場(適用範囲外コンクリート巻立て工) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 2512~13t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 25 12~13t 吊	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	とび工		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	賃料																																																																																									
	K2	—																																																																																										
	K3	—																																																																																										
労務	R1	とび工																																																																																										
	R2	普通作業員																																																																																										
	R3	土木一般世話役																																																																																										
	R4	—																																																																																										
材料	Z1	—																																																																																										
	Z2	—																																																																																										
	Z3	—																																																																																										
	Z4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 25 12~13t 吊	賃料																																																																																									
	K2	—																																																																																										
	K3	—																																																																																										
労務	R1	とび工																																																																																										
	R2	普通作業員																																																																																										
	R3	土木一般世話役																																																																																										
	R4	—																																																																																										
材料	Z1	—																																																																																										
	Z2	—																																																																																										
	Z3	—																																																																																										
	Z4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 2/3																																																																																									

改正理由	一部改正	改正 現 行																																															
現 行	改 正		備 考																																														
<p>3-2 下地処理 (適用範囲外コンクリート巻立て工)</p> <p>(1) 条件区分 下地処理 (適用範囲外コンクリート巻立て工) における積算条件区分はない。 積算単位は、m² とする。 (注) 1. コンクリート巻立て工における下地処理の他、ピックハンマ、空気圧縮機の機械損料及び空気圧縮機の燃料等の費用等、その施工に必要な全ての労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 2. 下地処理はチップングを標準とする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 下地処理(適用範囲外コンクリート巻立て工) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-3 型枠 (適用範囲外コンクリート巻立て工)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 型枠(適用範囲外コンクリート巻立て工) 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">型枠種別</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">一般型枠</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">合板円形型枠</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、コンクリート巻立て工における矩形 (小判形) 及び円形支柱の一般型枠及び半径 3 m 以下の合板円形型枠の製作・設置・撤去、はく離剤塗布及びクレン作業の他、型枠用合板、鋼製型枠 さん木、電動工具、組立支持材、はく離剤及び電力に関する経費等及び仮設材の持上げ (下げ) に必要な機械 (トラック (クレーン装置付)) に要する費用等、その施工に必要な全ての労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 2. 一般型枠の場合は、小判形支柱の両端部は含むが、円形支柱 3 m 以下の円形部分には適用しない。</p> <p style="text-align: center;">IV-3-⑩-30</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		型枠種別	一般型枠	合板円形型枠	<p>現行どおり</p>	<p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格		備考																																														
機械	K1	—																																															
	K2	—																																															
	K3	—																																															
労務	R1	普通作業員																																															
	R2	特殊作業員																																															
	R3	土木一般世話役																																															
	R4	—																																															
材料	Z1	—																																															
	Z2	—																																															
	Z3	—																																															
	Z4	—																																															
市場単価	S	—																																															
型枠種別																																																	
一般型枠																																																	
合板円形型枠																																																	
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>3 / 3</p>																																														

工 種	路面清掃工(機械清掃)
-----	-------------

改正理由	一部改正		改正	備考																											
	現	行	現行																												
<p>⑬ 道路清掃工</p> <p>⑬-1 路面清掃工(機械清掃)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、真空式及びブラシ式路面清掃車による道路清掃作業に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種を選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種を選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th colspan="2">規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">路面清掃車</td> <td rowspan="3">真空式</td> <td>リヤダンプ 6.0m級</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>リヤリフトダンプ 3.5m級</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>リヤリフトダンプ 5.5m級</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ブラシ式</td> <td>リヤダンプ 2.5m級</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フロントリフトダンプ 2.2m級</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 真空式には真空露流式を含む。 2. ブラシ式には降灰対応型を含む。</p>	機 械 名	規 格		単 位	数 量	摘 要	路面清掃車	真空式	リヤダンプ 6.0m級	台	1		リヤリフトダンプ 3.5m級	"	1		リヤリフトダンプ 5.5m級	"	1		ブラシ式	リヤダンプ 2.5m級	"	1		フロントリフトダンプ 2.2m級	"	1		<p>⑬ 道路清掃工</p> <p>⑬-1 路面清掃工(機械清掃工)</p> <p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
機 械 名	規 格		単 位	数 量	摘 要																										
路面清掃車	真空式	リヤダンプ 6.0m級	台	1																											
		リヤリフトダンプ 3.5m級	"	1																											
		リヤリフトダンプ 5.5m級	"	1																											
	ブラシ式	リヤダンプ 2.5m級	"	1																											
		フロントリフトダンプ 2.2m級	"	1																											
積算上の注意事項				(控え頁) 1/4																											

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考														
現	行	改 正	備 考														
<p>4. 組合せ機械</p> <p>(1) フロントリフトダンプ及びリヤリフトダンプ式は、ダンプトラック（オンロード・ディーゼル4 t積載）の組合せを標準とし、ダンプトラックの運転時間は、路面清掃車と同一とすることを標準とする。</p> <p>(2) 散水車は、清掃車の散水能力、給水条件等により必要な場合は、別途計上することが出来る。なお、運転時間は、路面清掃車と同一とすることを標準とする。</p> <p>(3) 粗大塵埃の量が多く、別途収集が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(4) 組合せ機械を貸与機械とする場合は、官保有の規格により積算する。</p> <p>5. 路面清掃作業歩掛</p> <p>路面の清掃にかかる事前の路肩掃き出し作業として、路面清掃車1台に対して以下の人員を計上する事を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 路面清掃作業歩掛 (人/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">士 木 一 般 世 話 役</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">普 通 作 業 員</td> <td style="text-align: center;">" "</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表には、組合せ機械の労務は含まない。 2. 塵埃の処分費が必要な場合は、別途計上する。 3. 路面清掃車の運転労務は、「第1編第6章④建設機械運転労務」による。 4. 上表は、土砂の掘り起こし、粗大塵埃の除去、掃き残し処理、障害物の除去等を行う場合の標準であり、特に固着した土砂の剥取り等が必要な場合は別途考慮する。 5. 歩道掃き出しが必要な場合は、表5.2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行作業を行う場合に適用するものとし、これにより難しい場合（歩道清掃、路肩清掃を兼ねる場合等）は別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 歩道掃き出し歩掛 (歩道1km当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">普 通 作 業 員</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">0.31</td> </tr> </tbody> </table> <p>6. 路面清掃車運転時間</p> <p>作業に必要な運転時間は、次式による。</p> $T = \frac{L}{V} + \frac{\theta}{v}$ <p>T: 作業に必要な運転時間（通過、反転、アイドリング等の全時間を含む）(h) L: 清掃延長 (km) V: 清掃速度 (km/h) θ: 移動距離 (km) v: 移動速度 (km/h)</p> <p>(1) 清掃延長 (L)</p> <p>清掃を実施する道路の延長であって、ブラシを回転させながら走行する区間は清掃延長とするが、清掃を必要としない部分で1箇所の延長が50m以上の区間がある場合、その区間については移動距離とする。</p>	名 称	単 位	数 量	士 木 一 般 世 話 役	人	0.8	普 通 作 業 員	" "	1.2	名 称	単 位	数 量	普 通 作 業 員	人	0.31	<p>4. 組合せ機械</p> <p>(1) フロントリフトダンプ及びリヤリフトダンプ式は、ダンプトラック（オンロード・ディーゼル4 t積載）との組合せを標準とし、ダンプトラックの運転時間は、路面清掃車と同一とすることを標準とする。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	記載の変更
名 称	単 位	数 量															
士 木 一 般 世 話 役	人	0.8															
普 通 作 業 員	" "	1.2															
名 称	単 位	数 量															
普 通 作 業 員	人	0.31															
積算上の注意事項			(控え頁) 2/4														

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考																																																																																																	
	<p>現 行</p> <p>(4) 路面清掃車(ブラシ式リヤダンプ, リヤリフトダンプ, 真空式リヤダンプ, リヤリフトダンプ) 運転1時間当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運 転 手 (一 般)</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/T</td> <td></td> </tr> <tr> <td>助 手 (普 通 作 業 員)</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/T</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃 料 費</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>「第1編第6章②原動機燃料消費量」による。</td> </tr> <tr> <td>路 面 清 掃 車</td> <td></td> <td>台</td> <td>1</td> <td>機械損料 表8.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) T:路面清掃車(ブラシ式リヤダンプ, リヤリフトダンプ) 運転日当り運転時間 6.8h/日 路面清掃車(真空式リヤダンプ, リヤリフトダンプ) 運転日当り運転時間 7.2h/日</p> <p>(5) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>散 水 車</td> <td>全機種</td> <td>機-6</td> <td>散水車使用の場合に計上</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>フロント・デ・イゼ・41 積載</td> <td>機-7</td> <td>ダンプトラック使用の場合に計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>表8.1 建設機械等損料算定表対象規格表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">路面清掃車</th> <th colspan="3">真空式</th> <th colspan="3">ブラシ式</th> </tr> <tr> <th>リヤダンプ</th> <th>リヤリフトダンプ</th> <th>リヤリフトダンプ</th> <th>リヤダンプ</th> <th>リヤリフトダンプ</th> <th>フロントリフトダンプ</th> </tr> <tr> <th>6.0m級</th> <th>3.5m級</th> <th>5.5m級</th> <th>2.5m級</th> <th>2.5m級</th> <th>2.2m級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>真空・リヤダンプ式 ホッパ容量 5.5~6.5m³</td> <td>真空・リヤリフト式 ホッパ容量 3.5m³</td> <td>真空・リヤリフト式 ホッパ容量 5.5~6.1m³</td> <td>ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1m³</td> <td>ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1m³</td> <td>ブラシ・三輪式 ホッパ容量 2.2m³</td> </tr> </tbody> </table> <p>9. 参考(助手について)</p> <p>(1) 助手は、機械的経験、知識を有するものとする。</p> <p>(2) ダンプトラック、散水車等には計上しない。</p> <p>(3) 助手の作業基準</p> <p>①機械に関すること(整備点検、給油脂、清掃、運転補助)。 ②当該機械の安全確認、機械の誘導、塵埃吐出回数確認。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	運 転 手 (一 般)		人	1/T		助 手 (普 通 作 業 員)		人	1/T		燃 料 費		ℓ		「第1編第6章②原動機燃料消費量」による。	路 面 清 掃 車		台	1	機械損料 表8.1	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	摘 要	散 水 車	全機種	機-6	散水車使用の場合に計上	ダンプトラック	フロント・デ・イゼ・41 積載	機-7	ダンプトラック使用の場合に計上	路面清掃車	真空式			ブラシ式			リヤダンプ	リヤリフトダンプ	リヤリフトダンプ	リヤダンプ	リヤリフトダンプ	フロントリフトダンプ	6.0m級	3.5m級	5.5m級	2.5m級	2.5m級	2.2m級		真空・リヤダンプ式 ホッパ容量 5.5~6.5m ³	真空・リヤリフト式 ホッパ容量 3.5m ³	真空・リヤリフト式 ホッパ容量 5.5~6.1m ³	ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1m ³	ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1m ³	ブラシ・三輪式 ホッパ容量 2.2m ³	<p>改 正</p> <p>現 行</p> <p>表8.1 建設機械等損料算定表対象規格表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">真空式</th> <th colspan="3">ブラシ式</th> </tr> <tr> <th>リヤダンプ</th> <th>リヤリフトダンプ</th> <th>リヤリフトダンプ</th> <th>リヤダンプ</th> <th>リヤリフトダンプ</th> <th>フロントリフトダンプ</th> </tr> <tr> <th>6.0m級</th> <th>3.5m級</th> <th>5.5m級</th> <th>2.5m級</th> <th>2.5m級</th> <th>2.2m級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>真空・リヤダンプ式 ホッパ容量 5.5~6.5m³</td> <td>真空・リヤリフト式 ホッパ容量 3.5m³</td> <td>真空・リヤリフト式 ホッパ容量 5.5~6.5m³</td> <td>ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1m³</td> <td>ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1m³</td> <td>ブラシ・三輪式 ホッパ容量 2.2m³</td> </tr> </tbody> </table> <p>記載の変更</p>	真空式			ブラシ式			リヤダンプ	リヤリフトダンプ	リヤリフトダンプ	リヤダンプ	リヤリフトダンプ	フロントリフトダンプ	6.0m級	3.5m級	5.5m級	2.5m級	2.5m級	2.2m級	真空・リヤダンプ式 ホッパ容量 5.5~6.5m ³	真空・リヤリフト式 ホッパ容量 3.5m ³	真空・リヤリフト式 ホッパ容量 5.5~6.5m ³	ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1m ³	ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1m ³	ブラシ・三輪式 ホッパ容量 2.2m ³	<p>備 考</p> <p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																
運 転 手 (一 般)		人	1/T																																																																																																	
助 手 (普 通 作 業 員)		人	1/T																																																																																																	
燃 料 費		ℓ		「第1編第6章②原動機燃料消費量」による。																																																																																																
路 面 清 掃 車		台	1	機械損料 表8.1																																																																																																
諸 雑 費		式	1																																																																																																	
計																																																																																																				
機 械 名	規 格	適用単価表	摘 要																																																																																																	
散 水 車	全機種	機-6	散水車使用の場合に計上																																																																																																	
ダンプトラック	フロント・デ・イゼ・41 積載	機-7	ダンプトラック使用の場合に計上																																																																																																	
路面清掃車	真空式			ブラシ式																																																																																																
	リヤダンプ	リヤリフトダンプ	リヤリフトダンプ	リヤダンプ	リヤリフトダンプ	フロントリフトダンプ																																																																																														
	6.0m級	3.5m級	5.5m級	2.5m級	2.5m級	2.2m級																																																																																														
	真空・リヤダンプ式 ホッパ容量 5.5~6.5m ³	真空・リヤリフト式 ホッパ容量 3.5m ³	真空・リヤリフト式 ホッパ容量 5.5~6.1m ³	ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1m ³	ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1m ³	ブラシ・三輪式 ホッパ容量 2.2m ³																																																																																														
真空式			ブラシ式																																																																																																	
リヤダンプ	リヤリフトダンプ	リヤリフトダンプ	リヤダンプ	リヤリフトダンプ	フロントリフトダンプ																																																																																															
6.0m級	3.5m級	5.5m級	2.5m級	2.5m級	2.2m級																																																																																															
真空・リヤダンプ式 ホッパ容量 5.5~6.5m ³	真空・リヤリフト式 ホッパ容量 3.5m ³	真空・リヤリフト式 ホッパ容量 5.5~6.5m ³	ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1m ³	ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1m ³	ブラシ・三輪式 ホッパ容量 2.2m ³																																																																																															
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																																																																																																	

改正理由	一部改正	改正 現行																																																												
現 行		改 正																																																												
<p>表10.2 路面清掃車形式</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">路面清掃車形式</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">真空式</td> <td>リヤダンプ</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>リヤリフトダンプ</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ブラシ式</td> <td>リヤダンプ</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>リヤリフトダンプ</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>フロントリフトダンプ</td> <td>⑤</td> </tr> </tbody> </table> <p>表10.3 清掃車、ブラシ保有区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>清掃車の保有区分</th> <th>ブラシの保有区分</th> <th>真空式</th> <th>ブラシ式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">官貸与</td> <td>官貸与</td> <td>①</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>業者持込</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>業者持込</td> <td>業者持込</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>表10.4 散水車の機種</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>1,800ℓ</th> <th>5,500～6,500ℓ</th> <th>7,500～8,000ℓ</th> <th>6,500ℓ 耐塩式 (貸 与)</th> <th>各種</th> <th>散水車 な し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入力番号</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 歩道掃き出し 施工歩掛コード <input type="text" value="WB432320"/> 施工単位 <input type="text" value="km"/></p> <p>(注) 1. 路面清掃作業と並行作業を行う場合にのみ適用する。 2. 施工数量は歩道延長を入力する。</p>		路面清掃車形式		入力番号	真空式	リヤダンプ	①	リヤリフトダンプ	②	ブラシ式	リヤダンプ	③	リヤリフトダンプ	④	フロントリフトダンプ	⑤	清掃車の保有区分	ブラシの保有区分	真空式	ブラシ式	官貸与	官貸与	①	②	業者持込	③	④	業者持込	業者持込	⑤	⑥	機 種	1,800ℓ	5,500～6,500ℓ	7,500～8,000ℓ	6,500ℓ 耐塩式 (貸 与)	各種	散水車 な し	入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥	<p>表10.4 散水車の機種</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>1,800ℓ</th> <th>5,500～6,500ℓ</th> <th>7,500～8,000ℓ</th> <th>6,500ℓ 耐塩式 (貸 与)</th> <th>各種</th> <th>散水車 な し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入力番号</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table>		機 種	1,800ℓ	5,500～6,500ℓ	7,500～8,000ℓ	6,500ℓ 耐塩式 (貸 与)	各種	散水車 な し	入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥	備考
路面清掃車形式		入力番号																																																												
真空式	リヤダンプ	①																																																												
	リヤリフトダンプ	②																																																												
ブラシ式	リヤダンプ	③																																																												
	リヤリフトダンプ	④																																																												
	フロントリフトダンプ	⑤																																																												
清掃車の保有区分	ブラシの保有区分	真空式	ブラシ式																																																											
官貸与	官貸与	①	②																																																											
	業者持込	③	④																																																											
業者持込	業者持込	⑤	⑥																																																											
機 種	1,800ℓ	5,500～6,500ℓ	7,500～8,000ℓ	6,500ℓ 耐塩式 (貸 与)	各種	散水車 な し																																																								
入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥																																																								
機 種	1,800ℓ	5,500～6,500ℓ	7,500～8,000ℓ	6,500ℓ 耐塩式 (貸 与)	各種	散水車 な し																																																								
入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥																																																								
<p>IV-3-15-8</p>		<p>記載の変更</p>																																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 4/4																																																											

改正理由	一部改正	改正 現行																																													
現	行	改 正	備 考																																												
<p>⑩ 排水構造物清掃工</p> <p>⑩-1 管渠清掃工、側溝清掃工及び集水樹清掃工(組合せ作業)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、排水管清掃車と側溝清掃車の組合せによる管渠及び側溝(蓋付)、集水樹の清掃に適用する。 管渠は、管径φ200mm～1,000mm、側溝は、幅200～1,000mm(断面積0.5㎡未満)、集水樹は、樹の内寸法100cm未満、樹深さは100cm未満とする。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実働部分のみである。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種を選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <caption>表3.1 機種を選定</caption> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排 水 管 清 掃 車</td> <td>高圧水洗浄式</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>側 溝 清 掃 車</td> <td>プロワ式</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 組合せ機械 散水車は、清掃車の散水能力、給水条件等により必要な場合は、別途計上することが出来る。なお、運転時間は、主機械と同一とすることを標準とする。</p> <p>5. 管渠清掃、側溝清掃及び集水樹清掃(組合せ)作業歩掛 管渠清掃、側溝清掃及び集水樹清掃(組合せ)作業歩掛は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <caption>表5.1 管渠清掃、側溝清掃及び集水樹清掃(組合せ)作業歩掛 (人/日)</caption> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>管 渠 清 掃</th> <th>側 溝 清 掃</th> <th>集 水 樹 清 掃</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td>0.9</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>4.0</td> <td>3.7</td> <td>3.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業に必要な蓋の開閉労務を含む。 2. 清掃区間内にある集水樹内部の清掃を含む(管渠清掃及び側溝清掃)。 3. 運転労務は、「第1編第6章①建設機械運転労務」による。</p> <p style="text-align: center;">IV-3-⑩-1</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	排 水 管 清 掃 車	高圧水洗浄式	台	1		側 溝 清 掃 車	プロワ式	〃	1		名 称	単 位	管 渠 清 掃	側 溝 清 掃	集 水 樹 清 掃	土木一般世話役	人	1.0	0.9	0.8	普通作業員	〃	4.0	3.7	3.9	<p>現行どおり</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、排水管清掃車と側溝清掃車の組合せによる管渠、側溝(蓋付)及び集水樹の清掃に適用する。 管渠は、管径φ200mm以上1,000mm以下、側溝は、幅200以上1,000mm以下(断面積0.5㎡未満)、集水樹は、樹の内寸法100cm未満、樹深さは100cm未満とする。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実働部分のみである。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>現行どおり</p> <p>4. 組合せ機械 散水車は、清掃車の散水能力、給水条件等により必要な場合は、別途計上する ことが出来る。なお、運転時間は、主機械と同一とすることを標準とする。</p> <p>5. 管渠清掃、側溝清掃及び集水樹清掃(組合せ)歩掛 管渠清掃、側溝清掃及び集水樹清掃(組合せ)作業歩掛は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <caption>表5.1 管渠清掃、側溝清掃及び集水樹清掃(組合せ)歩掛 (人/日)</caption> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>管 渠 清 掃</th> <th>側 溝 清 掃</th> <th>集 水 樹 清 掃</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td>0.9</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>4.0</td> <td>3.7</td> <td>3.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、作業に必要な蓋の開閉労務を含む。 2. 管渠清掃及び側溝清掃の場合は、清掃区間内にある集水樹内部の清掃を含む(管渠清掃及び側溝清掃)。 3. 運転労務は、「第1編第6章①建設機械運転労務」による。</p>	名 称	単 位	管 渠 清 掃	側 溝 清 掃	集 水 樹 清 掃	土木一般世話役	人	1.0	0.9	0.8	普通作業員	〃	4.0	3.7	3.9	<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																											
排 水 管 清 掃 車	高圧水洗浄式	台	1																																												
側 溝 清 掃 車	プロワ式	〃	1																																												
名 称	単 位	管 渠 清 掃	側 溝 清 掃	集 水 樹 清 掃																																											
土木一般世話役	人	1.0	0.9	0.8																																											
普通作業員	〃	4.0	3.7	3.9																																											
名 称	単 位	管 渠 清 掃	側 溝 清 掃	集 水 樹 清 掃																																											
土木一般世話役	人	1.0	0.9	0.8																																											
普通作業員	〃	4.0	3.7	3.9																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 1/10																																												

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考																																																																																					
	<p>(2) 時間当り清掃作業量(側溝) (A₂)</p> <p>表6.2 時間当り清掃作業量(側溝)(A₂) (m³/h)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">堆積率</th> <th colspan="2">側溝断面積</th> </tr> <tr> <th>0.125m²未満</th> <th>0.125m²以上 0.5m²未満</th> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>31</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>50%以上</td> <td>23</td> <td>14</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 堆積率は、次式による。 堆積率 = $\frac{\text{堆積土厚}}{\text{側溝深}} \times 100$ 2. 上表が適用出来るのは、泥土が水分を含んだ状態、又は固結せず機械で容易に清掃出来る場合であり、それ以外の場合は別途考慮する。</p> <p>(3) 時間当り清掃作業量(集水樹) (A₃)</p> <p>表6.3 時間当り清掃作業量(集水樹)(A₃) (個/h)</p> <table border="1"> <tr> <th>泥土堆積厚</th> <th>25cm未満</th> <th>25cm以上</th> </tr> <tr> <td>時間当り清掃作業量</td> <td>20</td> <td>9</td> </tr> </table> <p>(注) 上表が適用出来るのは、泥土が水分を含んだ状態、又は固結せず機械で容易に清掃出来る場合であり、それ以外の場合は別途考慮する。</p> <p>(4) 管渠清掃1m当り使用水量 (q₁) 管渠清掃に使用する水量は、次表を標準とする。</p> <p>表6.4 使用水量(管渠清掃) (m³/m)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">堆積率</th> <th colspan="3">管径</th> </tr> <tr> <th>φ200mm以上 φ400mm未満</th> <th>φ400mm以上 φ800mm未満</th> <th>φ800mm以上 φ1,000mm以下</th> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> <td>0.12</td> </tr> <tr> <td>50%以上</td> <td>0.05</td> <td>0.12</td> <td>0.20</td> </tr> </table> <p>(5) 側溝清掃1m当り使用水量 (q₂) 側溝清掃に使用する水量は、次表を標準とする。</p> <p>表6.5 使用水量(側溝清掃) (m³/m)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">堆積率</th> <th colspan="2">側溝断面積</th> </tr> <tr> <th>0.125m²未満</th> <th>0.125m²以上 0.5m²未満</th> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>0.06</td> <td>0.08</td> </tr> <tr> <td>50%以上</td> <td>0.09</td> <td>0.14</td> </tr> </table> <p>(6) 集水樹清掃1個当り使用水量 (q₃) 集水樹清掃に使用する水量は、次表を標準とする。</p> <p>表6.6 使用水量(集水樹清掃) (m³/個)</p> <table border="1"> <tr> <th>泥土堆積厚</th> <th>25cm未満</th> <th>25cm以上</th> </tr> <tr> <td>使用水量</td> <td>0.01</td> <td>0.11</td> </tr> </table> <p>(7) 水1m³を給水するのに要する時間 (t)</p> <p>給水時間は、次表を標準とする。</p> <p>表6.7 給水時間 (h/m³)</p> <table border="1"> <tr> <td>給水時間</td> <td>0.08</td> </tr> </table>	堆積率	側溝断面積		0.125m ² 未満	0.125m ² 以上 0.5m ² 未満	50%未満	31	20	50%以上	23	14	泥土堆積厚	25cm未満	25cm以上	時間当り清掃作業量	20	9	堆積率	管径			φ200mm以上 φ400mm未満	φ400mm以上 φ800mm未満	φ800mm以上 φ1,000mm以下	50%未満	0.03	0.10	0.12	50%以上	0.05	0.12	0.20	堆積率	側溝断面積		0.125m ² 未満	0.125m ² 以上 0.5m ² 未満	50%未満	0.06	0.08	50%以上	0.09	0.14	泥土堆積厚	25cm未満	25cm以上	使用水量	0.01	0.11	給水時間	0.08	<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>(注) 上表が適用出来るのは、泥土が水分を含んだ状態、又は固結せず機械で容易に清掃出来る場合であり、それ以外の場合は、別途考慮する。</p> <p>(4) 管渠清掃1m当り使用水量 (q₁) 管渠清掃に使用する水量は、次表を標準とする。</p> <p>表6.4 使用水量(管渠清掃)(q₁) (m³/m)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">堆積率</th> <th colspan="3">管径</th> </tr> <tr> <th>φ200mm以上 φ400mm未満</th> <th>φ400mm以上 φ800mm未満</th> <th>φ800mm以上 φ1,000mm以下</th> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> <td>0.12</td> </tr> <tr> <td>50%以上</td> <td>0.05</td> <td>0.12</td> <td>0.20</td> </tr> </table> <p>(5) 側溝清掃1m当り使用水量 (q₂) 側溝清掃に使用する水量は、次表を標準とする。</p> <p>表6.5 使用水量(側溝清掃)(q₂) (m³/m)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">堆積率</th> <th colspan="2">側溝断面積</th> </tr> <tr> <th>0.125m²未満</th> <th>0.125m²以上 0.5m²未満</th> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>0.06</td> <td>0.08</td> </tr> <tr> <td>50%以上</td> <td>0.09</td> <td>0.14</td> </tr> </table> <p>(6) 集水樹清掃1個当り使用水量 (q₃) 集水樹清掃に使用する水量は、次表を標準とする。</p> <p>表6.6 使用水量(集水樹清掃)(q₃) (m³/個)</p> <table border="1"> <tr> <th>泥土堆積厚</th> <th>25cm未満</th> <th>25cm以上</th> </tr> <tr> <td>使用水量</td> <td>0.01</td> <td>0.11</td> </tr> </table> <p>(7) 水1m³を給水するのに要する時間 (t)</p> <p>給水時間は、次表を標準とする。</p> <p>表6.7 給水時間(t) (h/m³)</p> <table border="1"> <tr> <td>給水時間</td> <td>0.08</td> </tr> </table>	堆積率	管径			φ200mm以上 φ400mm未満	φ400mm以上 φ800mm未満	φ800mm以上 φ1,000mm以下	50%未満	0.03	0.10	0.12	50%以上	0.05	0.12	0.20	堆積率	側溝断面積		0.125m ² 未満	0.125m ² 以上 0.5m ² 未満	50%未満	0.06	0.08	50%以上	0.09	0.14	泥土堆積厚	25cm未満	25cm以上	使用水量	0.01	0.11	給水時間	0.08	<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
堆積率	側溝断面積																																																																																							
	0.125m ² 未満	0.125m ² 以上 0.5m ² 未満																																																																																						
50%未満	31	20																																																																																						
50%以上	23	14																																																																																						
泥土堆積厚	25cm未満	25cm以上																																																																																						
時間当り清掃作業量	20	9																																																																																						
堆積率	管径																																																																																							
	φ200mm以上 φ400mm未満	φ400mm以上 φ800mm未満	φ800mm以上 φ1,000mm以下																																																																																					
50%未満	0.03	0.10	0.12																																																																																					
50%以上	0.05	0.12	0.20																																																																																					
堆積率	側溝断面積																																																																																							
	0.125m ² 未満	0.125m ² 以上 0.5m ² 未満																																																																																						
50%未満	0.06	0.08																																																																																						
50%以上	0.09	0.14																																																																																						
泥土堆積厚	25cm未満	25cm以上																																																																																						
使用水量	0.01	0.11																																																																																						
給水時間	0.08																																																																																							
堆積率	管径																																																																																							
	φ200mm以上 φ400mm未満	φ400mm以上 φ800mm未満	φ800mm以上 φ1,000mm以下																																																																																					
50%未満	0.03	0.10	0.12																																																																																					
50%以上	0.05	0.12	0.20																																																																																					
堆積率	側溝断面積																																																																																							
	0.125m ² 未満	0.125m ² 以上 0.5m ² 未満																																																																																						
50%未満	0.06	0.08																																																																																						
50%以上	0.09	0.14																																																																																						
泥土堆積厚	25cm未満	25cm以上																																																																																						
使用水量	0.01	0.11																																																																																						
給水時間	0.08																																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 2/10																																																																																					

改正理由	一部改正	改正 現行												
現	行	改	正											
		備 考												
積算上の注意事項	<p>(8) 移動距離 (ℓ)</p> <p>①移動距離は、次の区間の全走行距離をいう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 現場と給水場所の間 現場と現場の間(清掃を必要としない部分で、1箇所の延長が50m以上の区間) 基地と現場の間 <p>②上記の移動距離(ℓ)の算出にあたっては、次の諸元を考慮して決定する。</p> <p>管渠清掃及び側溝清掃における排水管清掃車の給水回数(n)</p> $n = \frac{L \times Q_1}{q}$ <p>L: 清掃延長(m) Q₁: 清掃1m当り使用水量(m³/m) q: 排水管清掃車のタンク容量(m³)</p> <p>集水樹清掃における排水管清掃車の給水回数(n)</p> $n = \frac{N \times Q_2}{q}$ <p>N: 清掃個数(個) Q₂: 清掃1個当り使用水量(m³/個) q: 排水管清掃車のタンク容量(m³)</p> <p>(9) 移動速度(v)</p> <p>移動速度は、次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="383 837 757 874"> <caption>表6.8 移動速度 (km/h)</caption> <tr> <td>移動速度</td> <td>30</td> </tr> </table> <p>(10) 側溝清掃車運転時間</p> <p>側溝清掃車の運転時間は、排水管清掃車と同一とする。なお、側溝清掃車の運転時間には、片道平均距離20kmまでの泥土運搬作業を含む。ただし、20kmを超える場合は、別途考慮する。</p> <p>7. 諸 雑 費</p> <p>諸雑費は、スコップ、ほうき等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <table border="1" data-bbox="327 1023 817 1082"> <caption>表7.1 管渠、側溝及び集水樹清掃(組合せ作業)諸雑費率 (%)</caption> <tr> <th>清掃種類</th> <th>管 渠</th> <th>側 溝</th> <th>集 水 樹</th> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>(注) 上表は、排水管清掃車・側溝清掃車の保有区分が「官貸身」、「業者持込」のいずれにかかわらず適用する。</p> <p style="text-align: center;">IV-3-10-4</p>	移動速度	30	清掃種類	管 渠	側 溝	集 水 樹	諸 雑 費 率	2	2	1	<p>現行どおり</p> <table border="1" data-bbox="1249 837 1624 874"> <caption>表6.8 移動速度(v) (km/h)</caption> <tr> <td>移動速度</td> <td>30</td> </tr> </table> <p>(10) 側溝清掃車運転時間</p> <p>側溝清掃車の運転時間は、排水管清掃車と同一とする。なお、側溝清掃車の運転時間には、片道平均距離20km以下の泥土運搬作業を含む。ただし、20kmを超える場合は、別途考慮する。</p> <p>記載の変更</p> <p style="text-align: right;">(控え頁)</p> <p style="text-align: right;">3/10</p>	移動速度	30
移動速度	30													
清掃種類	管 渠	側 溝	集 水 樹											
諸 雑 費 率	2	2	1											
移動速度	30													

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																												
<p>現 行</p> <p>(3) 集水樹清掃作業(組合せ作業)100個当り単備表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">数 量</th> <th colspan="2">施 工 歩 掛 コ ー ド</th> </tr> <tr> <th>WB433350(数量)</th> <th>WB433360(数量)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$(表5.1) \times T_2 / T \times 1 / N \times 100$</td> <td>$0.8 \times (1 / A_2 + 1 \times q_3 \times t) / T \times 100$</td> <td>$0.8 / (b \times T) \times 100$</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$(表5.1) \times T_2 / T \times 1 / N \times 100$</td> <td>$3.9 \times (1 / A_2 + 1 \times q_3 \times t) / T \times 100$</td> <td>$3.9 / (b \times T) \times 100$</td> </tr> <tr> <td>排水管清掃車運転</td> <td>高圧水洗浄式</td> <td>h</td> <td>$T_2 / N \times 100$</td> <td>単備表(4) 機械損料 $(1 / A_3 + 1 \times q_3 \times t) \times 100$</td> <td>$100 / b$</td> </tr> <tr> <td>側溝清掃車運転</td> <td>ブロワ式</td> <td>〃</td> <td>$T_2 / N \times 100$</td> <td>機械損料 $(1 / A_3 + 1 \times q_3 \times t) \times 100$</td> <td>$100 / b$</td> </tr> <tr> <td>散水車運転</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$T_2 / N \times 100$</td> <td>必要に応じて計上 $(1 / A_3 + 1 \times q_3 \times t) \times 100$</td> <td>$100 / b$</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表7.1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. T:排水管清掃車の運転日当り運転時間(6.7h/日とする) 2. 施工歩掛コード [WB433350] は作業100個当りの単備表である。 3. 施工歩掛コード [WB433360] は移動100km当りの単備表である。 4. 集水樹清掃作業(組合せ作業)100個当り単備は、(施工歩掛コード [WB433350] × N + 施工歩掛コード [WB433360] × D) × 1 / Nとなる。</p> <p>(4) 排水管清掃車運転1時間当り単備表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転手(一般)</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/T</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃 料 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>第1編第6章②原動機燃料消費量による。</td> </tr> <tr> <td>排水管清掃車</td> <td>高圧水洗浄式</td> <td>h</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) T:排水管清掃車の運転日当り運転時間(6.7h/日とする)</p> <p>(5) 機械運転単備表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単備表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>側溝清掃車</td> <td>ブロワ式</td> <td>機-6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>散水車</td> <td>全機種</td> <td>機-6</td> <td>散水車使用の場合に計上</td> </tr> </tbody> </table>		名 称	規 格	単 位	数 量	施 工 歩 掛 コ ー ド		WB433350(数量)	WB433360(数量)	土木一般世話役		人	$(表5.1) \times T_2 / T \times 1 / N \times 100$	$0.8 \times (1 / A_2 + 1 \times q_3 \times t) / T \times 100$	$0.8 / (b \times T) \times 100$	普通作業員		〃	$(表5.1) \times T_2 / T \times 1 / N \times 100$	$3.9 \times (1 / A_2 + 1 \times q_3 \times t) / T \times 100$	$3.9 / (b \times T) \times 100$	排水管清掃車運転	高圧水洗浄式	h	$T_2 / N \times 100$	単備表(4) 機械損料 $(1 / A_3 + 1 \times q_3 \times t) \times 100$	$100 / b$	側溝清掃車運転	ブロワ式	〃	$T_2 / N \times 100$	機械損料 $(1 / A_3 + 1 \times q_3 \times t) \times 100$	$100 / b$	散水車運転		〃	$T_2 / N \times 100$	必要に応じて計上 $(1 / A_3 + 1 \times q_3 \times t) \times 100$	$100 / b$	諸 雑 費		式	1	表7.1	1	計						名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	運転手(一般)		人	1/T		燃 料 費		〃		第1編第6章②原動機燃料消費量による。	排水管清掃車	高圧水洗浄式	h	1		諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単備表	指 定 事 項	側溝清掃車	ブロワ式	機-6		散水車	全機種	機-6	散水車使用の場合に計上	<p>改 正 現 行</p> <p>改 正</p> <p>現 行</p> <p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p> <p>記載の変更</p>	<p>備考</p> <p>記載の変更</p>
名 称	規 格					単 位	数 量	施 工 歩 掛 コ ー ド																																																																																							
		WB433350(数量)	WB433360(数量)																																																																																												
土木一般世話役		人	$(表5.1) \times T_2 / T \times 1 / N \times 100$	$0.8 \times (1 / A_2 + 1 \times q_3 \times t) / T \times 100$	$0.8 / (b \times T) \times 100$																																																																																										
普通作業員		〃	$(表5.1) \times T_2 / T \times 1 / N \times 100$	$3.9 \times (1 / A_2 + 1 \times q_3 \times t) / T \times 100$	$3.9 / (b \times T) \times 100$																																																																																										
排水管清掃車運転	高圧水洗浄式	h	$T_2 / N \times 100$	単備表(4) 機械損料 $(1 / A_3 + 1 \times q_3 \times t) \times 100$	$100 / b$																																																																																										
側溝清掃車運転	ブロワ式	〃	$T_2 / N \times 100$	機械損料 $(1 / A_3 + 1 \times q_3 \times t) \times 100$	$100 / b$																																																																																										
散水車運転		〃	$T_2 / N \times 100$	必要に応じて計上 $(1 / A_3 + 1 \times q_3 \times t) \times 100$	$100 / b$																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表7.1	1																																																																																										
計																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																											
運転手(一般)		人	1/T																																																																																												
燃 料 費		〃		第1編第6章②原動機燃料消費量による。																																																																																											
排水管清掃車	高圧水洗浄式	h	1																																																																																												
諸 雑 費		式	1																																																																																												
計																																																																																															
機 械 名	規 格	適用単備表	指 定 事 項																																																																																												
側溝清掃車	ブロワ式	機-6																																																																																													
散水車	全機種	機-6	散水車使用の場合に計上																																																																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 4/10																																																																																												

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考																																																																																																																																		
	<p>9. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 管渠清掃工(機械清掃)</p> <p>1) 管渠清掃工(機械清掃) 清掃作業</p> <table border="1"> <tr> <td>施工単価コード</td> <td>WB433310</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td>作業量 区分</td> <td>排水管清掃車 機 械 コー ド ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3 ②各種</td> <td>排水管清掃車 機 械 コー ド 入 力</td> <td>排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)</td> <td>排水管清掃車 使 用 区 分</td> <td>①持込 ②貸与</td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 6</td> <td>J 7</td> <td>J 8</td> <td>J 9</td> <td>J 10</td> </tr> <tr> <td></td> <td>側溝清掃車 機 械 コー ド ①プロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m3 ②各種</td> <td>側溝清掃車 機 械 コー ド 入 力</td> <td>側溝清掃車 使 用 区 分</td> <td>散 水 車 機 械 コー ド 入 力</td> <td>散 水 車 機 械 コー ド 入 力</td> <td>①持込 ②貸与</td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 11</td> <td>J 12</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>散 水 車 使 用 区 分</td> <td>機械供用日当り 運 転 時 間 t</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>①持込 ②貸与</td> <td>①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 移動は、WB433320で別途計上する。 2. J 2 条件で②を選択した場合は、J 3 条件で当該機械コード番号 (M○○○○○○○) を入力する。 3. J 2 条件で②を選択した場合は、J 4 条件は実数入力とし、有効数字の第3位を四捨五入、有効数字2桁入力とする。 4. J 6 条件で②を選択した場合は、J 7 条件で当該機械コード番号 (K○○○○○○○) を入力する。 5. J 9 条件で④を選択した場合は、J 11 条件は②で固定される。 6. J 9 条件で⑤を選択した場合は、J 10 条件で当該機械コード番号 (K○○○○○○○) を入力する。 7. J 9 条件で⑥を選択した場合は、J 11 条件の選択は必要ない。 8. 施工数量は清掃延長 (L) を入力する。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">管径</td> <td colspan="2">入 力 番 号</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">堆積率</td> <td>φ200mm以上</td> <td>φ400mm以上</td> <td>φ800mm以上</td> </tr> <tr> <td>φ400mm未満</td> <td>φ800mm未満</td> <td>φ1,000mm以下</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>50%以上</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> </table> <p>表9.1 作業量区分</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="4">表9.2 散水車機種</td> </tr> <tr> <td colspan="4">IV-3-⑩-7</td> </tr> </table>	施工単価コード	WB433310	施工単位	m	施工区分	入力条件			各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	作業量 区分	排水管清掃車 機 械 コー ド ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3 ②各種	排水管清掃車 機 械 コー ド 入 力	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)	排水管清掃車 使 用 区 分	①持込 ②貸与		J 6	J 7	J 8	J 9	J 10		側溝清掃車 機 械 コー ド ①プロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m3 ②各種	側溝清掃車 機 械 コー ド 入 力	側溝清掃車 使 用 区 分	散 水 車 機 械 コー ド 入 力	散 水 車 機 械 コー ド 入 力	①持込 ②貸与		J 11	J 12					散 水 車 使 用 区 分	機械供用日当り 運 転 時 間 t					①持込 ②貸与	①標準 ②標準以外 (実数入力)				管径		入 力 番 号		堆積率	φ200mm以上	φ400mm以上	φ800mm以上	φ400mm未満	φ800mm未満	φ1,000mm以下	50%未満	①	②	③	50%以上	④	⑤	⑥	表9.2 散水車機種				IV-3-⑩-7				<table border="1"> <tr> <td>施工単価コード</td> <td>WB433310</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td>作業量 区分</td> <td>排水管清掃車 機 械 コー ド ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3 ②各種</td> <td>排水管清掃車 機 械 コー ド 入 力</td> <td>排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)</td> <td>排水管清掃車 使 用 区 分</td> <td>①持込 ②貸与</td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 6</td> <td>J 7</td> <td>J 8</td> <td>J 9</td> <td>J 10</td> </tr> <tr> <td></td> <td>側溝清掃車 機 械 コー ド ①プロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m3 ②各種</td> <td>側溝清掃車 機 械 コー ド 入 力</td> <td>側溝清掃車 使 用 区 分</td> <td>散 水 車 機 械 コー ド 入 力</td> <td>散 水 車 機 械 コー ド 入 力</td> <td>①持込 ②貸与</td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 11</td> <td>J 12</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>散 水 車 使 用 区 分</td> <td>機械供用日当り 運 転 時 間 (L)</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>①持込 ②貸与</td> <td>①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 移動は、WB433320で別途計上する。 2. J 2 条件で②を選択した場合は、J 3 条件で当該機械コード番号 (M○○○○○○○) を入力する。 3. J 2 条件で②を選択した場合は、J 4 条件は実数入力とし、有効数字の第3位を四捨五入、有効数字2桁入力とする。 4. J 6 条件で②を選択した場合は、J 7 条件で当該機械コード番号 (K○○○○○○○) を入力する。 5. J 9 条件で④を選択した場合は、J 11 条件は②で固定される。 6. J 9 条件で⑤を選択した場合は、J 10 条件で当該機械コード番号 (K○○○○○○○) を入力する。 7. J 9 条件で⑥を選択した場合は、J 11 条件の選択は必要ない。 8. 施工数量は清掃延長 (L) を入力する。</p>	施工単価コード	WB433310	施工単位	m	施工区分	入力条件			各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	作業量 区分	排水管清掃車 機 械 コー ド ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3 ②各種	排水管清掃車 機 械 コー ド 入 力	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)	排水管清掃車 使 用 区 分	①持込 ②貸与		J 6	J 7	J 8	J 9	J 10		側溝清掃車 機 械 コー ド ①プロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m3 ②各種	側溝清掃車 機 械 コー ド 入 力	側溝清掃車 使 用 区 分	散 水 車 機 械 コー ド 入 力	散 水 車 機 械 コー ド 入 力	①持込 ②貸与		J 11	J 12					散 水 車 使 用 区 分	機械供用日当り 運 転 時 間 (L)					①持込 ②貸与	①標準 ②標準以外 (実数入力)				<p>記載の変更</p> <p>現行どおり</p> <p>記載の変更</p> <p>現行どおり</p>	
施工単価コード	WB433310	施工単位	m																																																																																																																																		
施工区分	入力条件																																																																																																																																				
各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																																
	作業量 区分	排水管清掃車 機 械 コー ド ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3 ②各種	排水管清掃車 機 械 コー ド 入 力	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)	排水管清掃車 使 用 区 分	①持込 ②貸与																																																																																																																															
	J 6	J 7	J 8	J 9	J 10																																																																																																																																
	側溝清掃車 機 械 コー ド ①プロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m3 ②各種	側溝清掃車 機 械 コー ド 入 力	側溝清掃車 使 用 区 分	散 水 車 機 械 コー ド 入 力	散 水 車 機 械 コー ド 入 力	①持込 ②貸与																																																																																																																															
	J 11	J 12																																																																																																																																			
	散 水 車 使 用 区 分	機械供用日当り 運 転 時 間 t																																																																																																																																			
	①持込 ②貸与	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																																			
管径		入 力 番 号																																																																																																																																			
堆積率	φ200mm以上	φ400mm以上	φ800mm以上																																																																																																																																		
	φ400mm未満	φ800mm未満	φ1,000mm以下																																																																																																																																		
50%未満	①	②	③																																																																																																																																		
50%以上	④	⑤	⑥																																																																																																																																		
表9.2 散水車機種																																																																																																																																					
IV-3-⑩-7																																																																																																																																					
施工単価コード	WB433310	施工単位	m																																																																																																																																		
施工区分	入力条件																																																																																																																																				
各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																																
	作業量 区分	排水管清掃車 機 械 コー ド ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3 ②各種	排水管清掃車 機 械 コー ド 入 力	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)	排水管清掃車 使 用 区 分	①持込 ②貸与																																																																																																																															
	J 6	J 7	J 8	J 9	J 10																																																																																																																																
	側溝清掃車 機 械 コー ド ①プロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m3 ②各種	側溝清掃車 機 械 コー ド 入 力	側溝清掃車 使 用 区 分	散 水 車 機 械 コー ド 入 力	散 水 車 機 械 コー ド 入 力	①持込 ②貸与																																																																																																																															
	J 11	J 12																																																																																																																																			
	散 水 車 使 用 区 分	機械供用日当り 運 転 時 間 (L)																																																																																																																																			
	①持込 ②貸与	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 5/10																																																																																																																																		

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																																									
<p style="text-align: center;">現 行</p> <table border="1"> <tr> <td>機 種</td> <td>1,800ℓ</td> <td>5,500ℓ～6,500ℓ</td> <td>7,500ℓ～8,000ℓ</td> <td>6,500ℓ (貸与)</td> <td>耐塩式 (貸与)</td> <td>各種</td> <td>散 水 車 な</td> </tr> <tr> <td>入力番号</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> <td></td> </tr> </table> <p>2) 管渠清掃工(機械清掃)移動</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB433320</td> <td>施工単位</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td>施 工 区 分</td> <td colspan="7">入力条件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td>排水管清掃車 種 ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3～5.8m³ ②各種</td> <td>排水管清掃車 機 械 コード 力 入</td> <td>排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)</td> <td>排水管清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与</td> <td>側溝清掃車 機 械 種</td> <td>①プロワ式 ホッパ容量 4.5～5.0m³ ②各種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 6</td> <td>J 7</td> <td>J 8</td> <td>J 9</td> <td>J 10</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>側溝清掃車 機 械 コード 入</td> <td>側溝清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与</td> <td>散 水 車 機 械 種 (表9.2)</td> <td>散 水 車 機 械 コード 入</td> <td>散 水 車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>機械供用日当り 運 転 時 間 t ①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		機 種	1,800ℓ	5,500ℓ～6,500ℓ	7,500ℓ～8,000ℓ	6,500ℓ (貸与)	耐塩式 (貸与)	各種	散 水 車 な	入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥		施工歩掛コード	WB433320	施工単位	km	施 工 区 分	入力条件								J 1	J 2	J 3	J 4	J 5			各 種	排水管清掃車 種 ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3～5.8m ³ ②各種	排水管清掃車 機 械 コード 力 入	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)	排水管清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与	側溝清掃車 機 械 種	①プロワ式 ホッパ容量 4.5～5.0m ³ ②各種			J 6	J 7	J 8	J 9	J 10				側溝清掃車 機 械 コード 入	側溝清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与	散 水 車 機 械 種 (表9.2)	散 水 車 機 械 コード 入	散 水 車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与				J 11								機械供用日当り 運 転 時 間 t ①標準 ②標準以外 (実数入力)							<p style="text-align: center;">改 正</p> <p>現行どおり</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB433320</td> <td>施工単位</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td>施 工 区 分</td> <td colspan="7">入力条件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td>排水管清掃車 機 械 種 ①高圧水洗浄式 ジェット式 タンク容量 5.3～5.8m³ ②各種</td> <td>排水管清掃車 機 械 コード 力 入</td> <td>排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)</td> <td>排水管清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与</td> <td>側溝清掃車 機 械 種</td> <td>①プロワ式 ホッパ容量 4.5～5.0m³ ②各種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 6</td> <td>J 7</td> <td>J 8</td> <td>J 9</td> <td>J 10</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>側溝清掃車 機 械 コード 入</td> <td>側溝清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与</td> <td>散 水 車 機 械 種 (表9.2)</td> <td>散 水 車 機 械 コード 入</td> <td>散 水 車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>機械供用日当り 運 転 時 間 t ①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>		施工歩掛コード	WB433320	施工単位	km	施 工 区 分	入力条件								J 1	J 2	J 3	J 4	J 5			各 種	排水管清掃車 機 械 種 ①高圧水洗浄式 ジェット式 タンク容量 5.3～5.8m ³ ②各種	排水管清掃車 機 械 コード 力 入	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)	排水管清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与	側溝清掃車 機 械 種	①プロワ式 ホッパ容量 4.5～5.0m ³ ②各種			J 6	J 7	J 8	J 9	J 10				側溝清掃車 機 械 コード 入	側溝清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与	散 水 車 機 械 種 (表9.2)	散 水 車 機 械 コード 入	散 水 車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与				J 11								機械供用日当り 運 転 時 間 t ①標準 ②標準以外 (実数入力)							<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
機 種	1,800ℓ	5,500ℓ～6,500ℓ	7,500ℓ～8,000ℓ	6,500ℓ (貸与)	耐塩式 (貸与)	各種	散 水 車 な																																																																																																																																					
入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥																																																																																																																																						
施工歩掛コード	WB433320	施工単位	km																																																																																																																																									
施 工 区 分	入力条件																																																																																																																																											
	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																																							
各 種	排水管清掃車 種 ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3～5.8m ³ ②各種	排水管清掃車 機 械 コード 力 入	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)	排水管清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与	側溝清掃車 機 械 種	①プロワ式 ホッパ容量 4.5～5.0m ³ ②各種																																																																																																																																						
	J 6	J 7	J 8	J 9	J 10																																																																																																																																							
	側溝清掃車 機 械 コード 入	側溝清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与	散 水 車 機 械 種 (表9.2)	散 水 車 機 械 コード 入	散 水 車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与																																																																																																																																							
	J 11																																																																																																																																											
	機械供用日当り 運 転 時 間 t ①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																																											
施工歩掛コード	WB433320	施工単位	km																																																																																																																																									
施 工 区 分	入力条件																																																																																																																																											
	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																																							
各 種	排水管清掃車 機 械 種 ①高圧水洗浄式 ジェット式 タンク容量 5.3～5.8m ³ ②各種	排水管清掃車 機 械 コード 力 入	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)	排水管清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与	側溝清掃車 機 械 種	①プロワ式 ホッパ容量 4.5～5.0m ³ ②各種																																																																																																																																						
	J 6	J 7	J 8	J 9	J 10																																																																																																																																							
	側溝清掃車 機 械 コード 入	側溝清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与	散 水 車 機 械 種 (表9.2)	散 水 車 機 械 コード 入	散 水 車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与																																																																																																																																							
	J 11																																																																																																																																											
	機械供用日当り 運 転 時 間 t ①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 6/10																																																																																																																																									

(注) 1. J 1条件で②を選択した場合は、J 2条件で当該機械コード番号(M○○○○○○○)を入力する。
 2. J 1条件で②を選択した場合は、J 3条件は実数入力とし、有効数字の第3位を四捨五入、有効数字2桁入力とする。
 3. J 5条件で②を選択した場合は、J 6条件で当該機械コード番号(K○○○○○○○)を入力する。
 4. J 8条件で④を選択した場合は、J 10条件は②で固定される。
 5. J 8条件で⑤を選択した場合は、J 9条件で当該機械コード番号(K○○○○○○○)を入力する。
 6. J 8条件で⑥を選択した場合は、J 10条件の選択は必要ない。
 7. 施工数量は移動距離(L)を入力する。

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																																																					
	<p>現 行</p> <p>(2) 側溝清掃工(機械清掃)</p> <p>1) 側溝清掃工(機械清掃の組合せ作業) 清掃作業</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB433330</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td>作 業 量 区 分</td> <td>排水管清掃車 機 種</td> <td>排水管清掃車 機 械 コー ド 入 力</td> <td>排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L)</td> <td>排水管清掃車 使 用 区 分</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(表9.3)</td> <td>①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3 ②各種</td> <td></td> <td>(実数入力)</td> <td>①持込 ②貸与</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 6</td> <td>J 7</td> <td>J 8</td> <td>J 9</td> <td>J 10</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>側 溝 清 掃 車 機 種</td> <td>側 溝 清 掃 車 機 械 コー ド 入 力</td> <td>側 溝 清 掃 車 使 用 区 分</td> <td>散 水 車 機 種</td> <td>散 水 車 機 械 コー ド 入 力</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>①ブロウ式 ホップ容量 4.5~5.0m3 ②各種</td> <td></td> <td>①持込 ②貸与</td> <td>(表9.2)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 11</td> <td>J 12</td> <td colspan="3"></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>散 水 車 使 用 区 分</td> <td>機 械 供 用 日 当 り 運 転 時 間 t</td> <td colspan="3"></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>①持込 ②貸与</td> <td>①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> <td colspan="3"></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 移動を別途、WB433340で計上する。 2. J 2条件で②を選択した場合は、J 3条件で当該機械コード番号(M○○○○○○)を入力する。 3. J 2条件で②を選択した場合は、J 4条件は実数入力とし、有効数字の第3位を四捨五入、有効数字2桁入力とする。 4. J 6条件で②を選択した場合は、J 7条件で当該機械コード番号(K○○○○○○)を入力する。 5. J 9条件で④を選択した場合は、J 11条件は②で固定される。 6. J 9条件で⑤を選択した場合は、J 10条件で当該機械コード番号(K○○○○○○)を入力する。 7. J 9条件で⑥を選択した場合は、J 11条件の選択は必要ない。 8. 施工数量は清掃延長(L)を入力する。</p> <table border="1"> <caption>表9.3 作業量区分</caption> <tr> <th rowspan="2">側溝断面積 堆積率</th> <th colspan="2">入 力 番 号</th> </tr> <tr> <td>0.125㎡未満</td> <td>0.125㎡以上 0.5㎡未満</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>①</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>50%以上</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> </table> <p>2) 側溝清掃工(機械清掃の組合せ作業) 移動</p> <p>IV-3-⑩-9</p>	施工歩掛コード	WB433330	施工単位	m	施工区分	入力条件			各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	作 業 量 区 分	排水管清掃車 機 種	排水管清掃車 機 械 コー ド 入 力	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L)	排水管清掃車 使 用 区 分			(表9.3)	①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3 ②各種		(実数入力)	①持込 ②貸与			J 6	J 7	J 8	J 9	J 10			側 溝 清 掃 車 機 種	側 溝 清 掃 車 機 械 コー ド 入 力	側 溝 清 掃 車 使 用 区 分	散 水 車 機 種	散 水 車 機 械 コー ド 入 力			①ブロウ式 ホップ容量 4.5~5.0m3 ②各種		①持込 ②貸与	(表9.2)				J 11	J 12						散 水 車 使 用 区 分	機 械 供 用 日 当 り 運 転 時 間 t						①持込 ②貸与	①標準 ②標準以外 (実数入力)					側溝断面積 堆積率	入 力 番 号		0.125㎡未満	0.125㎡以上 0.5㎡未満	50%未満	①	②	50%以上	③	④	<p>改 正</p> <p>現 行</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB433330</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td>作 業 量 区 分</td> <td>排水管清掃車 機 種</td> <td>排水管清掃車 機 械 コー ド 入 力</td> <td>排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L)</td> <td>排水管清掃車 使 用 区 分</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(表9.3)</td> <td>①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3 ②各種</td> <td></td> <td>(実数入力)</td> <td>①持込 ②貸与</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 6</td> <td>J 7</td> <td>J 8</td> <td>J 9</td> <td>J 10</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>側 溝 清 掃 車 機 種</td> <td>側 溝 清 掃 車 機 械 コー ド 入 力</td> <td>側 溝 清 掃 車 使 用 区 分</td> <td>散 水 車 機 種</td> <td>散 水 車 機 械 コー ド 入 力</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>①ブロウ式 ホップ容量 4.5~5.0m3 ②各種</td> <td></td> <td>①持込 ②貸与</td> <td>(表9.2)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 11</td> <td>J 12</td> <td colspan="3"></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>散 水 車 使 用 区 分</td> <td>機 械 供 用 日 当 り 運 転 時 間 t</td> <td colspan="3"></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>①持込 ②貸与</td> <td>①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> <td colspan="3"></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 移動は、(WB433340)で別途計上する。</p> <p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>	施工歩掛コード	WB433330	施工単位	m	施工区分	入力条件			各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	作 業 量 区 分	排水管清掃車 機 種	排水管清掃車 機 械 コー ド 入 力	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L)	排水管清掃車 使 用 区 分			(表9.3)	①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3 ②各種		(実数入力)	①持込 ②貸与			J 6	J 7	J 8	J 9	J 10			側 溝 清 掃 車 機 種	側 溝 清 掃 車 機 械 コー ド 入 力	側 溝 清 掃 車 使 用 区 分	散 水 車 機 種	散 水 車 機 械 コー ド 入 力			①ブロウ式 ホップ容量 4.5~5.0m3 ②各種		①持込 ②貸与	(表9.2)				J 11	J 12						散 水 車 使 用 区 分	機 械 供 用 日 当 り 運 転 時 間 t						①持込 ②貸与	①標準 ②標準以外 (実数入力)					<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
施工歩掛コード	WB433330	施工単位	m																																																																																																																																																					
施工区分	入力条件																																																																																																																																																							
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																																																			
	作 業 量 区 分	排水管清掃車 機 種	排水管清掃車 機 械 コー ド 入 力	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L)	排水管清掃車 使 用 区 分																																																																																																																																																			
	(表9.3)	①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3 ②各種		(実数入力)	①持込 ②貸与																																																																																																																																																			
	J 6	J 7	J 8	J 9	J 10																																																																																																																																																			
	側 溝 清 掃 車 機 種	側 溝 清 掃 車 機 械 コー ド 入 力	側 溝 清 掃 車 使 用 区 分	散 水 車 機 種	散 水 車 機 械 コー ド 入 力																																																																																																																																																			
	①ブロウ式 ホップ容量 4.5~5.0m3 ②各種		①持込 ②貸与	(表9.2)																																																																																																																																																				
	J 11	J 12																																																																																																																																																						
	散 水 車 使 用 区 分	機 械 供 用 日 当 り 運 転 時 間 t																																																																																																																																																						
	①持込 ②貸与	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																																																						
側溝断面積 堆積率	入 力 番 号																																																																																																																																																							
	0.125㎡未満	0.125㎡以上 0.5㎡未満																																																																																																																																																						
50%未満	①	②																																																																																																																																																						
50%以上	③	④																																																																																																																																																						
施工歩掛コード	WB433330	施工単位	m																																																																																																																																																					
施工区分	入力条件																																																																																																																																																							
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																																																			
	作 業 量 区 分	排水管清掃車 機 種	排水管清掃車 機 械 コー ド 入 力	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L)	排水管清掃車 使 用 区 分																																																																																																																																																			
	(表9.3)	①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3 ②各種		(実数入力)	①持込 ②貸与																																																																																																																																																			
	J 6	J 7	J 8	J 9	J 10																																																																																																																																																			
	側 溝 清 掃 車 機 種	側 溝 清 掃 車 機 械 コー ド 入 力	側 溝 清 掃 車 使 用 区 分	散 水 車 機 種	散 水 車 機 械 コー ド 入 力																																																																																																																																																			
	①ブロウ式 ホップ容量 4.5~5.0m3 ②各種		①持込 ②貸与	(表9.2)																																																																																																																																																				
	J 11	J 12																																																																																																																																																						
	散 水 車 使 用 区 分	機 械 供 用 日 当 り 運 転 時 間 t																																																																																																																																																						
	①持込 ②貸与	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 7/10																																																																																																																																																					

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																																								
現		改 正																																																																																																																								
現		改 正																																																																																																																								
<table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB433340</td> <td>施工単位</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> </tr> <tr> <td>排水管清掃車 機 種 ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m³ ②各種</td> <td>排水管清掃車 機 械 コ ー ド 入 力</td> <td>排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>排水管清掃車 使 用 区 分</td> <td>側溝清掃車 機 種</td> <td>①ブロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m³ ②各種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>①持込 ②貸与</td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 6</td> <td>J 7</td> <td>J 8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>側溝清掃車 機 械 コ ー ド 入 力</td> <td>側溝清掃車 使 用 区 分</td> <td>散 水 車 機 種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>①持込 ②貸与</td> <td>(表9.2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 9</td> <td>J 10</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>散 水 車 機 械 コ ー ド 入 力</td> <td>散 水 車 使 用 区 分</td> <td>①持込 ②貸与</td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 11</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>機械供用日当り 運 転 時 間 t</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		施工歩掛コード	WB433340	施工単位	km	施工区分	入力条件			各 種	J 1	J 2	J 3	排水管清掃車 機 種 ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m ³ ②各種	排水管清掃車 機 械 コ ー ド 入 力	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)		J 4	J 5			排水管清掃車 使 用 区 分	側溝清掃車 機 種	①ブロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m ³ ②各種				①持込 ②貸与		J 6	J 7	J 8		側溝清掃車 機 械 コ ー ド 入 力	側溝清掃車 使 用 区 分	散 水 車 機 種			①持込 ②貸与	(表9.2)		J 9	J 10			散 水 車 機 械 コ ー ド 入 力	散 水 車 使 用 区 分	①持込 ②貸与		J 11				機械供用日当り 運 転 時 間 t				①標準 ②標準以外 (実数入力)			<table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB433340</td> <td>施工単位</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> </tr> <tr> <td>排水管清掃車 機 種 ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m³ ②各種</td> <td>排水管清掃車 機 械 コ ー ド 入 力</td> <td>排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>排水管清掃車 使 用 区 分</td> <td>側溝清掃車 機 種</td> <td>①ブロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m³ ②各種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>①持込 ②貸与</td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 6</td> <td>J 7</td> <td>J 8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>側溝清掃車 機 械 コ ー ド 入 力</td> <td>側溝清掃車 使 用 区 分</td> <td>散 水 車 機 種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>①持込 ②貸与</td> <td>(表9.2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 9</td> <td>J 10</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>散 水 車 機 械 コ ー ド 入 力</td> <td>散 水 車 使 用 区 分</td> <td>①持込 ②貸与</td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 11</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>機械供用日当り 運 転 時 間 (t)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		施工歩掛コード	WB433340	施工単位	km	施工区分	入力条件			各 種	J 1	J 2	J 3	排水管清掃車 機 種 ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m ³ ②各種	排水管清掃車 機 械 コ ー ド 入 力	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)		J 4	J 5			排水管清掃車 使 用 区 分	側溝清掃車 機 種	①ブロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m ³ ②各種				①持込 ②貸与		J 6	J 7	J 8		側溝清掃車 機 械 コ ー ド 入 力	側溝清掃車 使 用 区 分	散 水 車 機 種			①持込 ②貸与	(表9.2)		J 9	J 10			散 水 車 機 械 コ ー ド 入 力	散 水 車 使 用 区 分	①持込 ②貸与		J 11				機械供用日当り 運 転 時 間 (t)				①標準 ②標準以外 (実数入力)			記載の変更
施工歩掛コード	WB433340	施工単位	km																																																																																																																							
施工区分	入力条件																																																																																																																									
各 種	J 1	J 2	J 3																																																																																																																							
	排水管清掃車 機 種 ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m ³ ②各種	排水管清掃車 機 械 コ ー ド 入 力	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)																																																																																																																							
	J 4	J 5																																																																																																																								
	排水管清掃車 使 用 区 分	側溝清掃車 機 種	①ブロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m ³ ②各種																																																																																																																							
			①持込 ②貸与																																																																																																																							
	J 6	J 7	J 8																																																																																																																							
	側溝清掃車 機 械 コ ー ド 入 力	側溝清掃車 使 用 区 分	散 水 車 機 種																																																																																																																							
		①持込 ②貸与	(表9.2)																																																																																																																							
	J 9	J 10																																																																																																																								
	散 水 車 機 械 コ ー ド 入 力	散 水 車 使 用 区 分	①持込 ②貸与																																																																																																																							
	J 11																																																																																																																									
	機械供用日当り 運 転 時 間 t																																																																																																																									
	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																									
施工歩掛コード	WB433340	施工単位	km																																																																																																																							
施工区分	入力条件																																																																																																																									
各 種	J 1	J 2	J 3																																																																																																																							
	排水管清掃車 機 種 ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m ³ ②各種	排水管清掃車 機 械 コ ー ド 入 力	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)																																																																																																																							
	J 4	J 5																																																																																																																								
	排水管清掃車 使 用 区 分	側溝清掃車 機 種	①ブロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m ³ ②各種																																																																																																																							
			①持込 ②貸与																																																																																																																							
	J 6	J 7	J 8																																																																																																																							
	側溝清掃車 機 械 コ ー ド 入 力	側溝清掃車 使 用 区 分	散 水 車 機 種																																																																																																																							
		①持込 ②貸与	(表9.2)																																																																																																																							
	J 9	J 10																																																																																																																								
	散 水 車 機 械 コ ー ド 入 力	散 水 車 使 用 区 分	①持込 ②貸与																																																																																																																							
	J 11																																																																																																																									
	機械供用日当り 運 転 時 間 (t)																																																																																																																									
	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																									
<p>(注) 1. J 1 条件で②を選択した場合は、J 2 条件で当該機械コード番号 (M○○○○○○○) を入力する。 2. J 1 条件で②を選択した場合は、J 3 条件は実数入力とし、有効数字の第3位を四捨五入、有効数字2桁入力とする。 3. J 5 条件で②を選択した場合は、J 6 条件で当該機械コード番号 (K○○○○○○○) を入力する。 4. J 8 条件で①を選択した場合は、J 10 条件は②で固定される。 5. J 8 条件で②を選択した場合は、J 9 条件で当該機械コード番号 (K○○○○○○○) を入力する。 6. J 8 条件で③を選択した場合は、J 10 条件の選択は必要ない。 7. 施工数量は移動距離 (L) を入力する。</p>		記載の変更																																																																																																																								
積算上の注意事項			(控え頁) 8/10																																																																																																																							

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																							
	<p>現 行</p> <p>(3) 集水樹清掃工(機械清掃)</p> <p>1) 集水樹清掃工(機械清掃の組合せ作業) 清掃作業</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB433350</td> <td>施工単位</td> <td>個</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td>泥土堆積厚 ①25cm未満 ②25cm以上</td> <td>排水管清掃車 機 種 ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m³ ②各種</td> <td>排水管清掃車 機 械 コード 入 力 力</td> <td>排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)</td> <td>排水管清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 6</td> <td>J 7</td> <td>J 8</td> <td>J 9</td> <td>J 10</td> </tr> <tr> <td>側溝清掃車 機 種 ①ブロウ式 ホッパ容量 4.5~5.0m³ ②各種</td> <td>側溝清掃車 機 械 コード 入 力 力</td> <td>側溝清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与</td> <td>散 水 車 機 種 (表9.2)</td> <td>散 水 車 機 械 コード 入 力 力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 11</td> <td>J 12</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>散 水 車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与</td> <td>機械供用日当り 運 転 時 間 t ①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 移動を別途、WB433360で計上する。 2. J 2条件で②を選択した場合は、J 3条件で当該機械コード番号(M○○○○○○)を入力する。 3. J 2条件で②を選択した場合は、J 4条件は実数入力とし、有効数字の第3位を四捨五入、有効数字2桁入力とする。 4. J 6条件で②を選択した場合は、J 7条件で当該機械コード番号(K○○○○○○)を入力する。 5. J 9条件で④を選択した場合は、J 11条件は②で固定される。 6. J 9条件で⑤を選択した場合は、J 10条件で当該機械コード番号(K○○○○○○)を入力する。 7. J 9条件で⑥を選択した場合は、J 11条件の選択は必要ない。</p>	施工歩掛コード	WB433350	施工単位	個	施工区分	入力条件			各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	泥土堆積厚 ①25cm未満 ②25cm以上	排水管清掃車 機 種 ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m ³ ②各種	排水管清掃車 機 械 コード 入 力 力	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)	排水管清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与	各 種	J 6	J 7	J 8	J 9	J 10	側溝清掃車 機 種 ①ブロウ式 ホッパ容量 4.5~5.0m ³ ②各種	側溝清掃車 機 械 コード 入 力 力	側溝清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与	散 水 車 機 種 (表9.2)	散 水 車 機 械 コード 入 力 力	各 種	J 11	J 12				散 水 車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与	機械供用日当り 運 転 時 間 t ①標準 ②標準以外 (実数入力)				<p>改 正</p> <p>現 行</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB433350</td> <td>施工単位</td> <td>個</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td>泥土堆積厚 ①25cm未満 ②25cm以上</td> <td>排水管清掃車 機 種 ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m³ ②各種</td> <td>排水管清掃車 機 械 コード 入 力 力</td> <td>排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)</td> <td>排水管清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 11</td> <td>J 12</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>散 水 車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与</td> <td>機械供用日当り 運 転 時 間 (t) ①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 移動は、(WB433360) で別途計上する。</p>	施工歩掛コード	WB433350	施工単位	個	施工区分	入力条件			各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	泥土堆積厚 ①25cm未満 ②25cm以上	排水管清掃車 機 種 ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m ³ ②各種	排水管清掃車 機 械 コード 入 力 力	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)	排水管清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与	各 種	J 11	J 12				散 水 車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与	機械供用日当り 運 転 時 間 (t) ①標準 ②標準以外 (実数入力)				<p>備 考</p> <p>記載の変更</p> <p>現行どおり</p> <p>記載の変更</p> <p>現行どおり</p>
施工歩掛コード	WB433350	施工単位	個																																																																							
施工区分	入力条件																																																																									
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																					
	泥土堆積厚 ①25cm未満 ②25cm以上	排水管清掃車 機 種 ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m ³ ②各種	排水管清掃車 機 械 コード 入 力 力	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)	排水管清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与																																																																					
各 種	J 6	J 7	J 8	J 9	J 10																																																																					
	側溝清掃車 機 種 ①ブロウ式 ホッパ容量 4.5~5.0m ³ ②各種	側溝清掃車 機 械 コード 入 力 力	側溝清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与	散 水 車 機 種 (表9.2)	散 水 車 機 械 コード 入 力 力																																																																					
各 種	J 11	J 12																																																																								
	散 水 車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与	機械供用日当り 運 転 時 間 t ①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																								
施工歩掛コード	WB433350	施工単位	個																																																																							
施工区分	入力条件																																																																									
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																					
	泥土堆積厚 ①25cm未満 ②25cm以上	排水管清掃車 機 種 ①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m ³ ②各種	排水管清掃車 機 械 コード 入 力 力	排水管清掃車 燃 料 消 費 量 (L) (実数入力)	排水管清掃車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与																																																																					
各 種	J 11	J 12																																																																								
	散 水 車 使 用 区 分 ①持込 ②貸与	機械供用日当り 運 転 時 間 (t) ①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																								
積算上の注意事項			(控え頁) 9/10																																																																							

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考																																																																																																																	
	<p>2) 集水樹清掃工(機械清掃の組合せ作業) 移動</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB433360</td> <td>施工単位</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">各種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td>排水管 清掃車 機 種</td> <td>排水管 清掃車 機 種</td> <td>排水管 清掃車 燃料消費量 (L)</td> <td>排水管 清掃車 使用区分</td> <td>側溝 清掃車 機 種</td> </tr> <tr> <td>①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3</td> <td>① ②各種</td> <td>(実数入力)</td> <td>①持込 ②貸与</td> <td>①プロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m3 ②各種</td> </tr> <tr> <td>J 6</td> <td>J 7</td> <td>J 8</td> <td>J 9</td> <td>J 10</td> </tr> <tr> <td>側溝 清掃車 機 種</td> <td>側溝 清掃車 機 種</td> <td>散水車 機 種</td> <td>散水車 機 種</td> <td>散水車 機 種</td> </tr> <tr> <td>機 種 機 種</td> </tr> <tr> <td>機 種 機 種</td> </tr> <tr> <td>機 種 機 種</td> </tr> <tr> <td>J 11</td> <td colspan="4">機械供用日当り 運 転 時 間 t</td> </tr> <tr> <td>①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>	施工歩掛コード	WB433360	施工単位	km	施工区分	入力条件			各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	排水管 清掃車 機 種	排水管 清掃車 機 種	排水管 清掃車 燃料消費量 (L)	排水管 清掃車 使用区分	側溝 清掃車 機 種	①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3	① ②各種	(実数入力)	①持込 ②貸与	①プロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m3 ②各種	J 6	J 7	J 8	J 9	J 10	側溝 清掃車 機 種	側溝 清掃車 機 種	散水車 機 種	散水車 機 種	散水車 機 種	機 種 機 種	J 11	機械供用日当り 運 転 時 間 t				①標準 ②標準以外 (実数入力)					<table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB433360</td> <td>施工単位</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">各種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td>排水管 清掃車 機 種</td> <td>排水管 清掃車 機 種</td> <td>排水管 清掃車 燃料消費量 (L)</td> <td>排水管 清掃車 使用区分</td> <td>側溝 清掃車 機 種</td> </tr> <tr> <td>①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3</td> <td>① ②各種</td> <td>(実数入力)</td> <td>①持込 ②貸与</td> <td>①プロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m3 ②各種</td> </tr> <tr> <td>J 6</td> <td>J 7</td> <td>J 8</td> <td>J 9</td> <td>J 10</td> </tr> <tr> <td>側溝 清掃車 機 種</td> <td>側溝 清掃車 機 種</td> <td>散水車 機 種</td> <td>散水車 機 種</td> <td>散水車 機 種</td> </tr> <tr> <td>機 種 機 種</td> </tr> <tr> <td>機 種 機 種</td> </tr> <tr> <td>J 11</td> <td colspan="4">機械供用日当り 運 転 時 間 (t)</td> </tr> <tr> <td>①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table> <p>→ 現行どおり</p> <p>→ 現行どおり</p>	施工歩掛コード	WB433360	施工単位	km	施工区分	入力条件			各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	排水管 清掃車 機 種	排水管 清掃車 機 種	排水管 清掃車 燃料消費量 (L)	排水管 清掃車 使用区分	側溝 清掃車 機 種	①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3	① ②各種	(実数入力)	①持込 ②貸与	①プロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m3 ②各種	J 6	J 7	J 8	J 9	J 10	側溝 清掃車 機 種	側溝 清掃車 機 種	散水車 機 種	散水車 機 種	散水車 機 種	機 種 機 種	J 11	機械供用日当り 運 転 時 間 (t)				①標準 ②標準以外 (実数入力)					<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>																							
施工歩掛コード	WB433360	施工単位	km																																																																																																																	
施工区分	入力条件																																																																																																																			
各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																															
	排水管 清掃車 機 種	排水管 清掃車 機 種	排水管 清掃車 燃料消費量 (L)	排水管 清掃車 使用区分	側溝 清掃車 機 種																																																																																																															
	①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3	① ②各種	(実数入力)	①持込 ②貸与	①プロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m3 ②各種																																																																																																															
	J 6	J 7	J 8	J 9	J 10																																																																																																															
	側溝 清掃車 機 種	側溝 清掃車 機 種	散水車 機 種	散水車 機 種	散水車 機 種																																																																																																															
機 種 機 種	機 種 機 種	機 種 機 種	機 種 機 種	機 種 機 種																																																																																																																
機 種 機 種	機 種 機 種	機 種 機 種	機 種 機 種	機 種 機 種																																																																																																																
機 種 機 種	機 種 機 種	機 種 機 種	機 種 機 種	機 種 機 種																																																																																																																
J 11	機械供用日当り 運 転 時 間 t																																																																																																																			
①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																				
施工歩掛コード	WB433360	施工単位	km																																																																																																																	
施工区分	入力条件																																																																																																																			
各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																															
	排水管 清掃車 機 種	排水管 清掃車 機 種	排水管 清掃車 燃料消費量 (L)	排水管 清掃車 使用区分	側溝 清掃車 機 種																																																																																																															
	①高圧水洗浄式 (ジェット式) タンク容量 5.3~5.8m3	① ②各種	(実数入力)	①持込 ②貸与	①プロワ式 ホッパ容量 4.5~5.0m3 ②各種																																																																																																															
	J 6	J 7	J 8	J 9	J 10																																																																																																															
	側溝 清掃車 機 種	側溝 清掃車 機 種	散水車 機 種	散水車 機 種	散水車 機 種																																																																																																															
機 種 機 種	機 種 機 種	機 種 機 種	機 種 機 種	機 種 機 種																																																																																																																
機 種 機 種	機 種 機 種	機 種 機 種	機 種 機 種	機 種 機 種																																																																																																																
J 11	機械供用日当り 運 転 時 間 (t)																																																																																																																			
①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																				
積算上の注意事項	IV-3-16-12		(控え頁) 10/10																																																																																																																	

工 種	側溝清掃工(単独作業)
-----	-------------

改正理由	一部改正	改正 現行																			
現 行	改 正		備 考																		
<p>⑩-2 側溝清掃工(単独作業)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、側溝清掃車による無蓋側溝の清掃作業に適用する。側溝は、幅30～70cm、深さ30～90cmとする。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 本表冊で対応しているのは、実働部分のみである。 図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種を選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>側溝清掃車</td> <td>プロワ式</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 側溝清掃(単独作業)歩掛 側溝清掃(単独作業)歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表4.1 側溝清掃(単独作業)歩掛 (人/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上 木 一 般 世 話 役</td> <td>人</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>3.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 清掃区間内にある集水桝内部の清掃を含む。 2. 運転労務は、「第1編第6章D)建設機械運転労務」による。</p> <p>5. 側溝清掃車運転時間 作業に必要な運転時間は、次式による。</p> $T_1 = \frac{q \times L}{\Lambda} + \frac{\theta}{v}$ <p>T₁ : 側溝清掃車の運転時間 (h) L : 清掃延長 (m) q : m当りの平均泥土量 (m³/m) Λ : 時間当りの作業量 (m³/h) θ : 移動距離 (km) v : 移動速度 (km/h)</p> <p style="text-align: center;">IV-3-⑩-13</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	側溝清掃車	プロワ式	台	1		名 称	単 位	数 量	上 木 一 般 世 話 役	人	1.0	普 通 作 業 員	〃	3.6	<p>現行どおり</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、側溝清掃車による無蓋側溝の清掃作業に適用する。側溝は、幅30～70cm、深さ30～90cmとする。なお、有蓋側溝の単独作業による清掃については、「7. 有蓋側溝の単独作業を行う場合」による。</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の変更</p>
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																	
側溝清掃車	プロワ式	台	1																		
名 称	単 位	数 量																			
上 木 一 般 世 話 役	人	1.0																			
普 通 作 業 員	〃	3.6																			
積算上の注意事項			(控え頁) 1/4																		

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																															
現	行	改 正	備 考																															
<p>(1) 時間当り作業量 (A)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.1 時間当り作業量(A) (m³/h)</caption> <tr> <th>作 業 量</th> <td style="text-align: center;">2.8</td> </tr> </table> <p>(注) 上表が適用出来るのは、泥土が水分を含んだ状態、又は固結せず機械で容易に清掃出来る場合であり、それ以外の場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) 移動距離 (θ)</p> <p>①移動距離は、次の区間の全走行距離をいう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 現場と残土処理場の間 2) 現場と現場の間 (清掃を必要としない部分で、1箇所延長が50m以上の区間) 3) 基地と現場の間 <p>②上記の移動距離 (θ) の算出にあたっては、次の諸元を考慮して決定する。</p> <p>側溝清掃車による泥土の排出回数 (n)</p> $n = \frac{q \times L}{Q \times K}$ <p>q : 側溝 1 m 当り平均泥土量 (m³/m) L : 清掃延長 (m) Q : ホッパ容量 (m³) K : ホッパ係数 0.67</p> <p>(3) 移動速度 (v)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.2 側溝清掃車の移動速度 (km/h)</caption> <tr> <th>移 動 速 度</th> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> </table> <p>6. 諸 雑 費</p> <p>諸雑費は、スコップ、ほうき等の費用であり、労務費に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表6.1 諸雑费率 (%)</caption> <tr> <th>諸 雑 費 率</th> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </table> <p>7. 有蓋側溝の単独作業を行う場合</p> <p>有蓋側溝の単独作業については、無蓋側溝清掃費に側溝蓋の撤去・設置費を加算するものとする。側溝蓋の撤去・設置歩掛は下表によるが、清掃範囲の蓋を全数撤去・設置する場合について適用するものとする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表7.1 側溝蓋撤去・設置歩掛 (人/100枚)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="2">蓋質量 (kg/枚)</th> </tr> <tr> <th>40kg以上 80kg以下</th> <th>80kgを超え 120kg以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td style="text-align: center;">0.3</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td style="text-align: center;">1.4</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 本歩掛は、コンクリート製の側溝蓋の撤去・設置作業について適用するものとする。</p>	作 業 量	2.8	移 動 速 度	30	諸 雑 費 率	2	職 種	蓋質量 (kg/枚)		40kg以上 80kg以下	80kgを超え 120kg以下	土木一般世話役	0.3	0.4	普通作業員	1.4	2.0	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(3) 移動速度 (u)</p> <p style="color: red;">移動速度は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.2 側溝清掃車の移動速度(u) (km/h)</caption> <tr> <th>移 動 速 度</th> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> </table> <p>6. 諸 雑 費</p> <p>諸雑費は、スコップ、ほうき等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表6.1 諸雑费率 (%)</caption> <tr> <th>諸 雑 費 率</th> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </table> <p>7. 有蓋側溝の単独作業を行う場合</p> <p>有蓋側溝の単独作業については、無蓋側溝清掃費に側溝蓋の撤去・設置費を加算するものとする。側溝蓋の撤去・設置歩掛は次表を標準とし、清掃範囲の蓋を全数撤去・設置する場合について適用するものとする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表7.1 側溝蓋撤去・設置歩掛 (人/100枚)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th colspan="2">蓋質量 (kg/枚)</th> </tr> <tr> <th>40kg以上 80kg以下</th> <th>80kgを超え 120kg以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td style="text-align: center;">0.3</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td style="text-align: center;">1.4</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 本歩掛は、コンクリート製の側溝蓋の撤去・設置作業について適用するものとする。</p>	移 動 速 度	30	諸 雑 費 率	2	名 称	蓋質量 (kg/枚)		40kg以上 80kg以下	80kgを超え 120kg以下	土木一般世話役	0.3	0.4	普通作業員	1.4	2.0	記載の変更
作 業 量	2.8																																	
移 動 速 度	30																																	
諸 雑 費 率	2																																	
職 種	蓋質量 (kg/枚)																																	
	40kg以上 80kg以下	80kgを超え 120kg以下																																
土木一般世話役	0.3	0.4																																
普通作業員	1.4	2.0																																
移 動 速 度	30																																	
諸 雑 費 率	2																																	
名 称	蓋質量 (kg/枚)																																	
	40kg以上 80kg以下	80kgを超え 120kg以下																																
土木一般世話役	0.3	0.4																																
普通作業員	1.4	2.0																																
IV-3-⑯-14																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 2/4																															

工 種	側溝清掃工(単独作業)
-----	-------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考																																																																																																															
	現 行	改 正																																																																																																																
	<p>8. 単 価 表</p> <p>(1) 側溝清掃(単独作業)100m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> <th colspan="2">施 工 歩 掛 コ ー ド</th> </tr> <tr> <th>WB433410 (数量)</th> <th>WB433420(数量)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$1.0 \times T_1 / T \times 1 / L \times 100$</td> <td>表4.1</td> <td>$1.0 \times q / (A \times T) \times 100$</td> <td>$1.0 / (v \times T) \times 100$</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>$3.6 \times T_1 / T \times 1 / L \times 100$</td> <td>"</td> <td>$3.6 \times q / (A \times T) \times 100$</td> <td>$3.6 / (v \times T) \times 100$</td> </tr> <tr> <td>側溝清掃車運転</td> <td>フロウ式</td> <td>h</td> <td>$T_1 / L \times 100$</td> <td>単価表(3) 機械賃料</td> <td>$q / A \times 100$</td> <td>$100 / v$</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. T : 側溝清掃車の運転日当り運転時間 (6.5h/日とする) 2. 施工歩掛コード「WB433410」は作業100m当りの単価表である。 3. 施工歩掛コード「WB433420」は移動100km当りの単価表である。 4. 側溝清掃作業(単独作業)100m当り単価は、(施工歩掛コード[WB433410]×L+施工歩掛コード[WB433420]×D)×1/Lとなる。</p> <p>(2) 側溝蓋撤去・設置作業 100枚当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> <th colspan="2">施 工 歩 掛 コ ー ド</th> </tr> <tr> <th>WB433430</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表7.1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 側溝清掃車(フロウ式) 運転1時間当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運 転 手 (一 般)</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/T</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃 料 費</td> <td></td> <td>g</td> <td></td> <td>第1編第6章②原動機燃料消費量による。</td> </tr> <tr> <td>側 溝 清 掃 車</td> <td>フロウ式</td> <td>h</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) T : 側溝清掃車の運転日当り運転時間 6.5h/日</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	施 工 歩 掛 コ ー ド		WB433410 (数量)	WB433420(数量)	土木一般世話役		人	$1.0 \times T_1 / T \times 1 / L \times 100$	表4.1	$1.0 \times q / (A \times T) \times 100$	$1.0 / (v \times T) \times 100$	普通作業員		"	$3.6 \times T_1 / T \times 1 / L \times 100$	"	$3.6 \times q / (A \times T) \times 100$	$3.6 / (v \times T) \times 100$	側溝清掃車運転	フロウ式	h	$T_1 / L \times 100$	単価表(3) 機械賃料	$q / A \times 100$	$100 / v$	諸 雑 費		式	1	表6.1	1	1	計							名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	施 工 歩 掛 コ ー ド		WB433430		土木一般世話役		人		表7.1			普通作業員		"		"			諸 雑 費		式	1				計							名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	運 転 手 (一 般)		人	1/T		燃 料 費		g		第1編第6章②原動機燃料消費量による。	側 溝 清 掃 車	フロウ式	h	1		諸 雑 費		式	1		計					<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>(注) 1. T : 側溝清掃車の運転日当り運転時間 (6.5h/日とする) 2. T₁ : 側溝清掃車の運転時間 (h) 3. L : 清掃延長 (m) 4. q : m当りの平均泥土量 (m³/m) 5. A : 時間当りの作業量 (m³/h) 6. 施工歩掛コード「WB433410」は作業100m当りの単価表である。 7. 施工歩掛コード「WB433420」は移動100km当りの単価表である。 8. 側溝清掃作業(単独作業)100m当り単価は、(施工歩掛コード[WB433410]×L+施工歩掛コード[WB433420]×D)×1/Lとなる。</p>	<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
名 称	規 格						単 位	数 量	摘 要	施 工 歩 掛 コ ー ド																																																																																																								
		WB433410 (数量)	WB433420(数量)																																																																																																															
土木一般世話役		人	$1.0 \times T_1 / T \times 1 / L \times 100$	表4.1	$1.0 \times q / (A \times T) \times 100$	$1.0 / (v \times T) \times 100$																																																																																																												
普通作業員		"	$3.6 \times T_1 / T \times 1 / L \times 100$	"	$3.6 \times q / (A \times T) \times 100$	$3.6 / (v \times T) \times 100$																																																																																																												
側溝清掃車運転	フロウ式	h	$T_1 / L \times 100$	単価表(3) 機械賃料	$q / A \times 100$	$100 / v$																																																																																																												
諸 雑 費		式	1	表6.1	1	1																																																																																																												
計																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	施 工 歩 掛 コ ー ド																																																																																																													
					WB433430																																																																																																													
土木一般世話役		人		表7.1																																																																																																														
普通作業員		"		"																																																																																																														
諸 雑 費		式	1																																																																																																															
計																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																														
運 転 手 (一 般)		人	1/T																																																																																																															
燃 料 費		g		第1編第6章②原動機燃料消費量による。																																																																																																														
側 溝 清 掃 車	フロウ式	h	1																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																															
計																																																																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																																																																																																															

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																										
現	行	改 正	備 考																										
<p>5. 側溝清掃車運転時間</p> <p>作業に必要な運転時間は、次式による。</p> $T_1 = N \cdot t_1 \cdot K + \frac{\theta}{v} + N \cdot q \cdot t_2 + t_3 \cdot n$ <p> T_1 : 側溝清掃車の運転時間 (h) N : 集水桝清掃数 (個) t_1 : 集水桝1個当り清掃時間 (h/個) K : 清掃時間の補正係数 θ : 移動距離 (km) v : 移動速度 (km/h) q : 集水桝1個当り清掃に要する洗浄水量 (m³/個) t_2 : 水1m³当り給水時間 (h/m³) t_3 : 1回当りの泥土排出に要する時間 (h/回) n : 泥土排出回数 (回) </p> <p>(1) 集水桝1個当り清掃時間 (t_1) 側溝清掃車による集水桝1個当り清掃時間は、次式によって算出する。 $t_1 = 0.76V + 0.019$ (h) ただし、V : 集水桝1個当り土量(m³)</p> <p>(2) 清掃時間の補正係数(K) 水洗い作業の有無により、集水桝1個当り清掃時間を次表により補正する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.1 清掃時間の補正係数</caption> <thead> <tr> <th>清掃方法</th> <th>水洗いする場合</th> <th>水洗いしない場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 移動距離 (θ) 移動距離は、次の区間の全走行距離をいう。 1) 現場と残土処理場の間 2) 現場と現場の間 3) 現場と給水場所の間 4) 基地と現場の間</p> <p>(4) 移動速度 (v)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.2 側溝清掃車の移動速度 (km/h)</caption> <thead> <tr> <th>移動速度</th> <th style="text-align: center;">30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移動速度</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 集水桝1個当り清掃に要する洗浄水量(q)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.3 洗浄水量 (m³/個)</caption> <thead> <tr> <th>泥土堆積厚</th> <th>20cm未満</th> <th>20cm以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>洗浄水量</td> <td style="text-align: center;">0.007</td> <td style="text-align: center;">0.011</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)上表により難い場合は、別途考慮する。</p>		清掃方法	水洗いする場合	水洗いしない場合	補正係数	1	0.7	移動速度	30	移動速度	30	泥土堆積厚	20cm未満	20cm以上	洗浄水量	0.007	0.011	<p>現行どおり</p> <p>(1) 集水桝1個当り清掃時間 (t_1) 側溝清掃車による集水桝1個当り清掃時間は、次式によって算出する。</p> <p>現行どおり</p> <p>表5.1 清掃時間の補正係数(K)</p> <p>現行どおり</p> <p>(4) 移動速度 (v) 移動速度は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.2 側溝清掃車の移動速度(v) (km/h)</caption> <thead> <tr> <th>移動速度</th> <th style="text-align: center;">30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移動速度</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 集水桝1個当り清掃に要する洗浄水量(q) 集水桝1個当り清掃に要する洗浄水量は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.3 洗浄水量(q) (m³/個)</caption> <thead> <tr> <th>泥土堆積厚</th> <th>20cm未満</th> <th>20cm以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>洗浄水量</td> <td style="text-align: center;">0.007</td> <td style="text-align: center;">0.011</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)上表により難い場合は、別途考慮する。</p>	移動速度	30	移動速度	30	泥土堆積厚	20cm未満	20cm以上	洗浄水量	0.007	0.011	<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
清掃方法	水洗いする場合	水洗いしない場合																											
補正係数	1	0.7																											
移動速度	30																												
移動速度	30																												
泥土堆積厚	20cm未満	20cm以上																											
洗浄水量	0.007	0.011																											
移動速度	30																												
移動速度	30																												
泥土堆積厚	20cm未満	20cm以上																											
洗浄水量	0.007	0.011																											
IV-3-16-20																													
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3																										

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																						
	<p>現 行</p> <p>(6) 水 1 m³当り給水時間(t₂)</p> <p style="text-align: center;">表5.4 給水時間 (h/m³)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>給水方法</th> <th>洗車用水道から</th> <th>消火栓から</th> <th>散水車から</th> </tr> <tr> <td>給水時間</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> </table> <p>(注)この時間は、給水の準備時間を含んだものである。</p> <p>(7) 1回当りの泥土処理に要する時間 (t₃)</p> <p style="text-align: center;">表5.5 泥土排出に要する時間 (h/回)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>泥土排出に要する時間</th> <td>0.18</td> </tr> </table> <p>(注)この時間は泥土排出のための準備後片付時間を含んだものである。</p> <p>(8) 泥土排出回数 (n) 泥土排出回数は、次式によって算出する。 $n = \frac{\text{泥土堆積量合計 (m}^3\text{)}}{\text{ホッパ係数} \times \text{ホッパ容量 (m}^3\text{)}}$ ホッパ係数は、0.65とする。</p> <p>6. 諸 雑 費 諸雑費は、スコップ、ほうき等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>諸雑费率</th> <td>2</td> </tr> </table> <p>7. 組 合 せ 機 械 (1) 散水車は、清掃車の必要洗浄水量を考慮し計上することが出来る。 (2) その他、清掃作業に必要な機械は別途積算することが出来る。</p>	給水方法	洗車用水道から	消火栓から	散水車から	給水時間	0.4	0.2	0.2	泥土排出に要する時間	0.18	諸雑费率	2	<p>改 正</p> <p>(6) 水 1 m³を給水するのに要する時間(t₂) 水 1 m³を給水するのに要する時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 給水時間(t₂) (h/m³)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>給水方法</th> <th>洗車用水道から</th> <th>消火栓から</th> <th>散水車から</th> </tr> <tr> <td>給水時間</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> </table> <p>(注)上表は、給水の準備時間を含む。</p> <p>(7) 1回当りの泥土排出に要する時間 (t₃) 1回当りの泥土排出に要する時間、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.5 泥土排出に要する時間(t₃) (h/回)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>泥土排出に要する時間</th> <td>0.18</td> </tr> </table> <p>(注)上表は、泥土排出のための準備・後片付時間を含む。</p> <p>(8) 泥土排出回数 (n) 泥土排出回数は、次式によって算出する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(2) その他、清掃作業に必要な機械は別途計上することが出来る。</p>	給水方法	洗車用水道から	消火栓から	散水車から	給水時間	0.4	0.2	0.2	泥土排出に要する時間	0.18	<p>備 考</p> <p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
給水方法	洗車用水道から	消火栓から	散水車から																						
給水時間	0.4	0.2	0.2																						
泥土排出に要する時間	0.18																								
諸雑费率	2																								
給水方法	洗車用水道から	消火栓から	散水車から																						
給水時間	0.4	0.2	0.2																						
泥土排出に要する時間	0.18																								
積算上の注意事項	IV-3-16-21		(控え頁) 2/3																						

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																				
	現 行	改 正																																																																																																																					
	<p>8. 単 価 表 (1) 集水樹清掃 (単独作業) 100箇所当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">施工歩掛コード</td> <td style="text-align: center;">WB433610</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> <th>WB433610 (数量)</th> </tr> <tr> <td>土木一般世話費</td> <td></td> <td>入</td> <td>$0.8 \times T_1 / T \times 1 / N \times 100$</td> <td>表4.1</td> <td>$0.8 \times T_1 / N \times 1 / T \times 1,000$</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>$3.5 \times T_1 / T \times 1 / N \times 100$</td> <td>"</td> <td>$3.5 \times T_1 / N \times 1 / T \times 1,000$</td> </tr> <tr> <td>側溝清掃車運転</td> <td>ブロワ式</td> <td>h</td> <td>$T_1 / N \times 100$</td> <td>単価表(2) 機械租料</td> <td>$T_1 / N \times 1000$</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. T : 側溝清掃車の運転日当り運転時間 (6.5h/日とする) N : 集水樹清掃数 (箇所) T₁: 側溝清掃車の運転時間</p> <p>2. 施工歩掛コード [WB433610] は作業1,000箇所当りの単価表である。</p> <p>(2) 側溝清掃車運転 (ブロワ式) 運転時間当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>運転手 (一般)</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/T</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃 料 費</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>第1編第6章②原動機燃料消費量による。</td> </tr> <tr> <td>側 溝 清 掃 車</td> <td>ブロワ式</td> <td>h</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) T : 側溝清掃車の運転日当り運転時間 6.5h/日</p> <p>9. 施工単価入力基準表 (1) 集水樹清掃工 (単独作業)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <td style="text-align: center;">WB433610</td> <th>施工単位</th> <td style="text-align: center;">個</td> <th>箇所</th> <td></td> </tr> <tr> <th>施工区分</th> <th colspan="5">入力条件</th> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">各種</td> <td style="text-align: center;">J 1</td> <td style="text-align: center;">J 2</td> <td style="text-align: center;">J 3</td> <td style="text-align: center;">J 4</td> <td style="text-align: center;">J 6</td> </tr> <tr> <td>側溝清掃車 1箇所当り 運転時間 (h/箇所) (T₁/N)</td> <td>側溝清掃車 機 種 ①ブロワ式 ホップ容量 4.5~5.0m³ ②各種</td> <td>側溝 清掃車 機 械 コード 入力 (実数入力)</td> <td>側溝清掃車 燃料消費量 (L) ①持込 ②貸与 (実数入力)</td> <td>機械使用 区 分 運 転 時 間 t ①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 2条件で②を選択した場合は、J 3条件で当該機械コード番号 (M○○○○○○) を入力する。 2. J 2条件で②を選択した場合は、J 4条件は実数入力とし、有効数字の第3位を四捨五入、有効数字2桁入力とする。</p>			施工歩掛コード	WB433610	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	WB433610 (数量)	土木一般世話費		入	$0.8 \times T_1 / T \times 1 / N \times 100$	表4.1	$0.8 \times T_1 / N \times 1 / T \times 1,000$	普通作業員		人	$3.5 \times T_1 / T \times 1 / N \times 100$	"	$3.5 \times T_1 / N \times 1 / T \times 1,000$	側溝清掃車運転	ブロワ式	h	$T_1 / N \times 100$	単価表(2) 機械租料	$T_1 / N \times 1000$	諸 雑 費		式	1	表6.1	1	計						名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	運転手 (一般)		人	1/T		燃 料 費		ℓ		第1編第6章②原動機燃料消費量による。	側 溝 清 掃 車	ブロワ式	h	1		諸 雑 費		式	1		計					施工歩掛コード	WB433610	施工単位	個	箇所		施工区分	入力条件					各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 6	側溝清掃車 1箇所当り 運転時間 (h/箇所) (T ₁ /N)	側溝清掃車 機 種 ①ブロワ式 ホップ容量 4.5~5.0m ³ ②各種	側溝 清掃車 機 械 コード 入力 (実数入力)	側溝清掃車 燃料消費量 (L) ①持込 ②貸与 (実数入力)	機械使用 区 分 運 転 時 間 t ①標準 ②標準以外 (実数入力)	<p>8. 単 価 表 (1) 集水樹清掃 (単独作業) 100個当り単価表</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">N : 集水樹清掃数 (個) T₁: 側溝清掃車の運転時間 (h)</p> <p>2. 施工歩掛コード [WB433610] は、作業1,000個当りの単価表である。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) T : 側溝清掃車の運転日当り運転時間 (6.5h/日とする)</p> <p>9. 施工単価入力基準表 (1) 集水樹清掃工 (単独作業)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <td style="text-align: center;">WB433610</td> <th>施工単位</th> <td style="text-align: center;">個</td> <th>箇所</th> <td></td> </tr> <tr> <th>施工区分</th> <th colspan="5">入力条件</th> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">各種</td> <td style="text-align: center;">J 1</td> <td style="text-align: center;">J 2</td> <td style="text-align: center;">J 3</td> <td style="text-align: center;">J 4</td> <td style="text-align: center;">J 6</td> </tr> <tr> <td>側溝清掃車 1個当り 運転時間 (T₁/N) (h/個)</td> <td>側溝清掃車 機 種 ①ブロワ式 ホップ容量 4.5~5.0m³ ②各種</td> <td>側溝 清掃車 機 械 コード 入力 (実数入力)</td> <td>側溝清掃車 燃料消費量 (L) ①持込 ②貸与 (実数入力)</td> <td>機械使用 区 分 運 転 時 間 t ①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 2条件で②を選択した場合は、J 3条件で当該機械コード番号 (M○○○○○○) を入力する。 2. J 2条件で②を選択した場合は、J 4条件は実数入力とし、有効数字の第3位を四捨五入、有効数字2桁入力とする。</p>	施工歩掛コード	WB433610	施工単位	個	箇所		施工区分	入力条件					各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 6	側溝清掃車 1個当り 運転時間 (T ₁ /N) (h/個)	側溝清掃車 機 種 ①ブロワ式 ホップ容量 4.5~5.0m ³ ②各種	側溝 清掃車 機 械 コード 入力 (実数入力)	側溝清掃車 燃料消費量 (L) ①持込 ②貸与 (実数入力)	機械使用 区 分 運 転 時 間 t ①標準 ②標準以外 (実数入力)	<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
		施工歩掛コード	WB433610																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	WB433610 (数量)																																																																																																																		
土木一般世話費		入	$0.8 \times T_1 / T \times 1 / N \times 100$	表4.1	$0.8 \times T_1 / N \times 1 / T \times 1,000$																																																																																																																		
普通作業員		人	$3.5 \times T_1 / T \times 1 / N \times 100$	"	$3.5 \times T_1 / N \times 1 / T \times 1,000$																																																																																																																		
側溝清掃車運転	ブロワ式	h	$T_1 / N \times 100$	単価表(2) 機械租料	$T_1 / N \times 1000$																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	表6.1	1																																																																																																																		
計																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																			
運転手 (一般)		人	1/T																																																																																																																				
燃 料 費		ℓ		第1編第6章②原動機燃料消費量による。																																																																																																																			
側 溝 清 掃 車	ブロワ式	h	1																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1																																																																																																																				
計																																																																																																																							
施工歩掛コード	WB433610	施工単位	個	箇所																																																																																																																			
施工区分	入力条件																																																																																																																						
各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 6																																																																																																																		
	側溝清掃車 1箇所当り 運転時間 (h/箇所) (T ₁ /N)	側溝清掃車 機 種 ①ブロワ式 ホップ容量 4.5~5.0m ³ ②各種	側溝 清掃車 機 械 コード 入力 (実数入力)	側溝清掃車 燃料消費量 (L) ①持込 ②貸与 (実数入力)	機械使用 区 分 運 転 時 間 t ①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																		
施工歩掛コード	WB433610	施工単位	個	箇所																																																																																																																			
施工区分	入力条件																																																																																																																						
各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 6																																																																																																																		
	側溝清掃車 1個当り 運転時間 (T ₁ /N) (h/個)	側溝清掃車 機 種 ①ブロワ式 ホップ容量 4.5~5.0m ³ ②各種	側溝 清掃車 機 械 コード 入力 (実数入力)	側溝清掃車 燃料消費量 (L) ①持込 ②貸与 (実数入力)	機械使用 区 分 運 転 時 間 t ①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 3/3																																																																																																																				